

南大隅町のまちづくりに関する アンケート調査結果

令和6年7月

< 目 次 >

1. 調査概要	1
2. 調査結果	3
(1) 回答者の属性	3
(2) 定住意向について	4
(3) 南大隅町の取組に対する評価等について	11
(4) 町民の地域づくりへの参加等について	15
(5) デジタル技術の活用について	19
(6) 今後の南大隅町のまちづくりについて	22
(7) 今後の南大隅町のまちづくりなどに関する意見・要望等	27

1. 調査概要

調査概要は、以下のとおりとなっている。

■ 調査目的

- ・ 町民のまちづくりに関する意向等を把握し、総合計画策定の際の基礎資料とすることを目的とする。

■ 調査対象

- ・ 14歳以上の町内在住者 2,000人（無作為抽出）

■ 調査方法

- ・ 郵送配布、郵送またはインターネットによる回収

■ 調査期間

- ・ 令和6年2月6日（火）～2月29日（木）

■ 回収状況

- ・ 677票（回収率：33.9%）

■ 調査項目

- ・ 調査項目は以下のとおり。

【調査項目】

項目	内容
属性	居住地区、年齢、性別、職業、町内での居住年数（通算）
I. 定住意向について	
(1) 定住意向について	<ul style="list-style-type: none">・ 南大隅町の住みやすさ・ 定住意向・ 住み続けたい、戻って住みたい理由・ 住み続けたくない理由
(2) 南大隅町に対する愛着や誇りについて	<ul style="list-style-type: none">・ 南大隅町に対する愛着や誇りの有無・ 愛着や誇りを感じる点
II. 南大隅町の取組に対する評価等について	<ul style="list-style-type: none">・ 南大隅町の施策に対する現在の満足度・今後の重要度・ 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する認知・周知度・ 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する満足度・ 少子化対策で南大隅町が力を入れて取り組むべきこと

【調査項目（続き）】

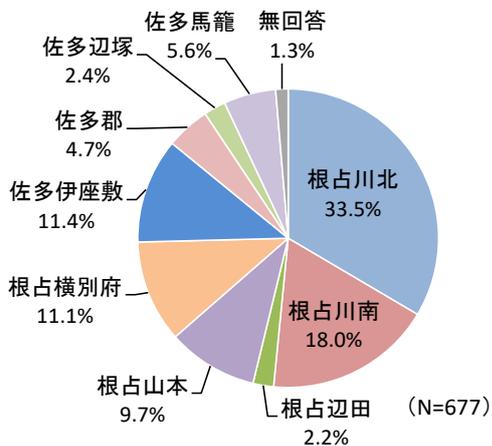
項目	内容
Ⅲ. 町民の地域づくりへの参加等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南大隅町に関する情報の収集手段 ・ 地域活動への参加経験の有無 ・ 現在の健康状況 ・ 町民と協働したまちづくりへの取組に対する評価 ・ 町民が主体となって活動するために町が取り組むべきこと ・ 地域や町民ができること、やるべきこと ・ 行政が主体となって取り組むべきこと
Ⅳ. デジタル技術の活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの利用頻度 ・ 南大隅町が情報化施策で優先して取り組むべき課題 ・ 情報化を望んでいる分野について具体的に望むこと
Ⅴ. 今後の南大隅町のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南大隅町を魅力的なまちにするために町政に望む取組 ・ 将来を考えた時、特に不安に感じること ・ 南大隅町が目指す将来像としてふさわしい言葉
※自由意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の南大隅町のまちづくりなどに関する意見・要望等

2. 調査結果

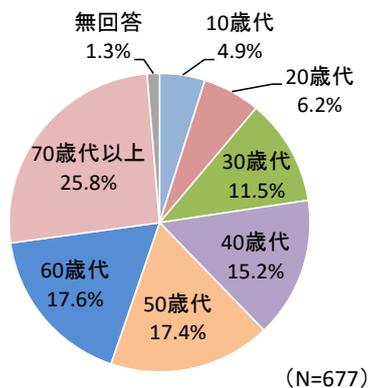
調査結果は、以下のとおりとなっている。

(1) 回答者の属性

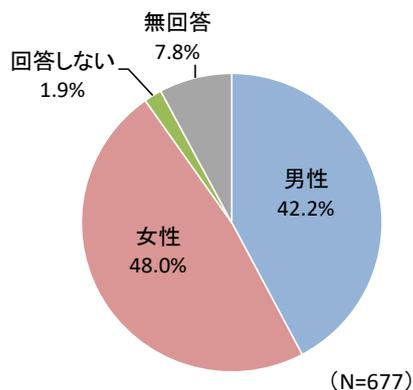
【居住地区】



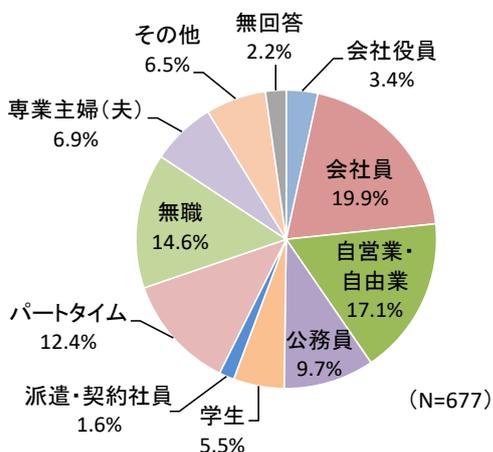
【年齢】



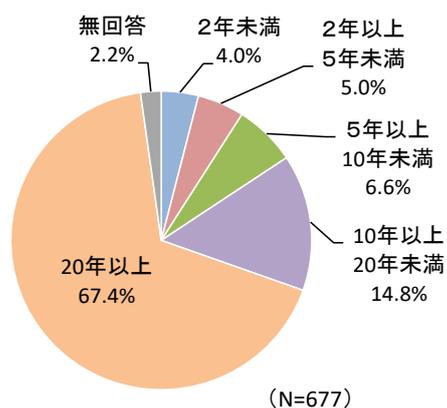
【性別】



【職業】



【町内での居住年数（通算）】



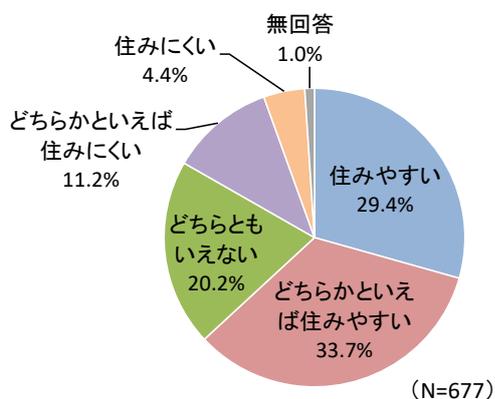
(2) 定住意向について

1) 定住意向について

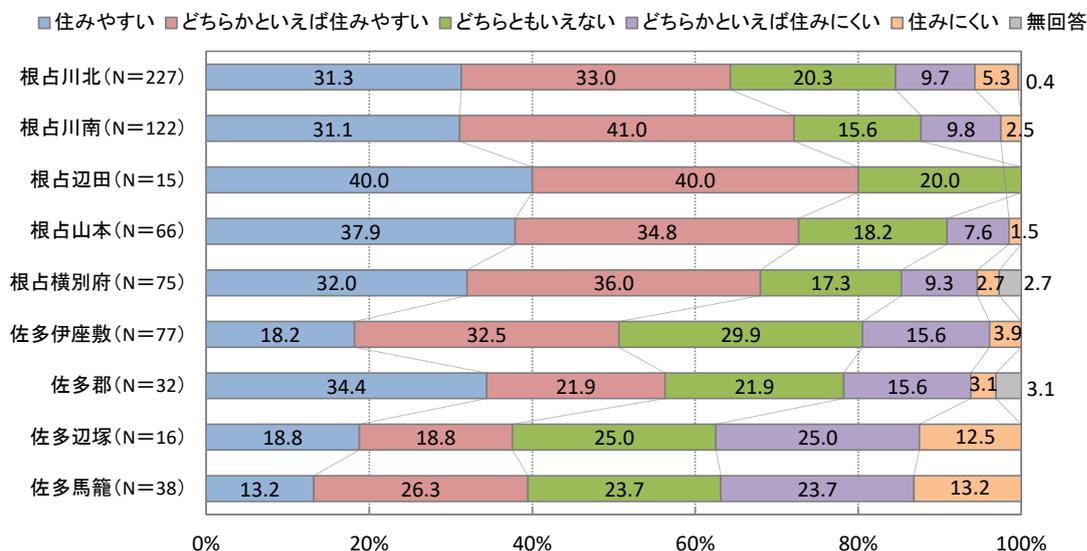
① 南大隅町の住みやすさ

- 南大隅町の住みやすさについては、「住みやすい」が29.4%、「どちらかといえば住みやすい」が33.7%となっており、この2項目を合わせた『住みやすい』が63.1%で6割を超えている。
- その一方で、「どちらかといえば住みにくい」が11.2%、「住みにくい」が4.4%となっており、この2項目を合わせた『住みにくい』は15.6%となっている。なお、「どちらともいえない」は20.2%となっている。
- 居住地区別にみると、『住みやすい』は根占地域で6割以上を占めている一方、佐多地域では4割～5割程度となっている。
- 年齢別にみると、『住みやすい』は10歳代と70歳代以上で約7割、20歳代で約半数、その他の年代で約6割となっている。
- 町内での居住年数別にみると、『住みやすい』はいずれの居住年数でも約6割となっており、大きな違いはみられない。

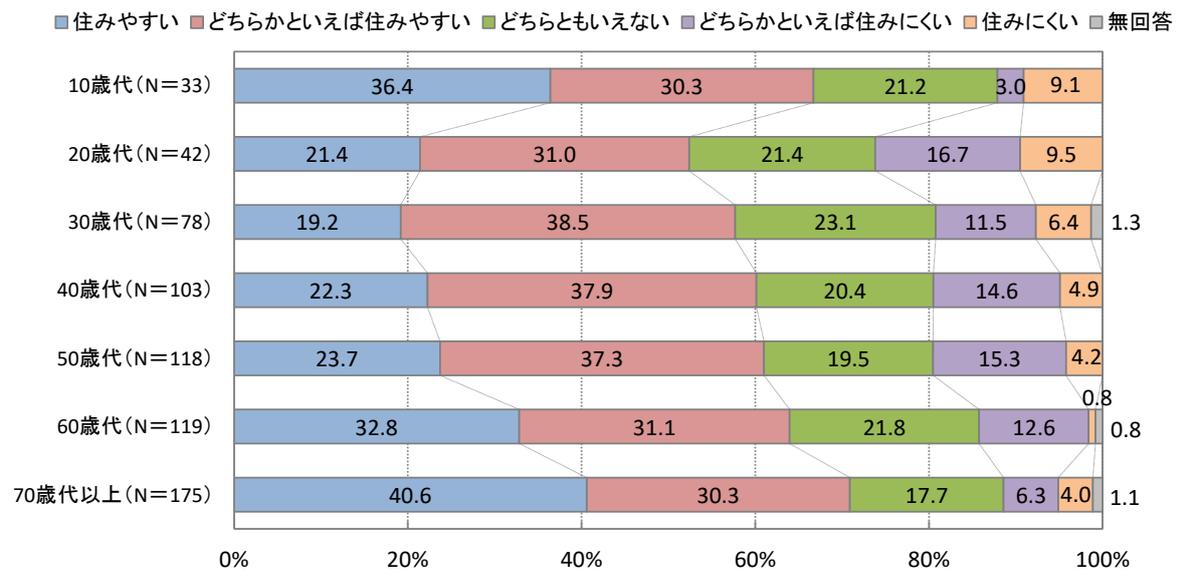
【南大隅町の住みやすさ】



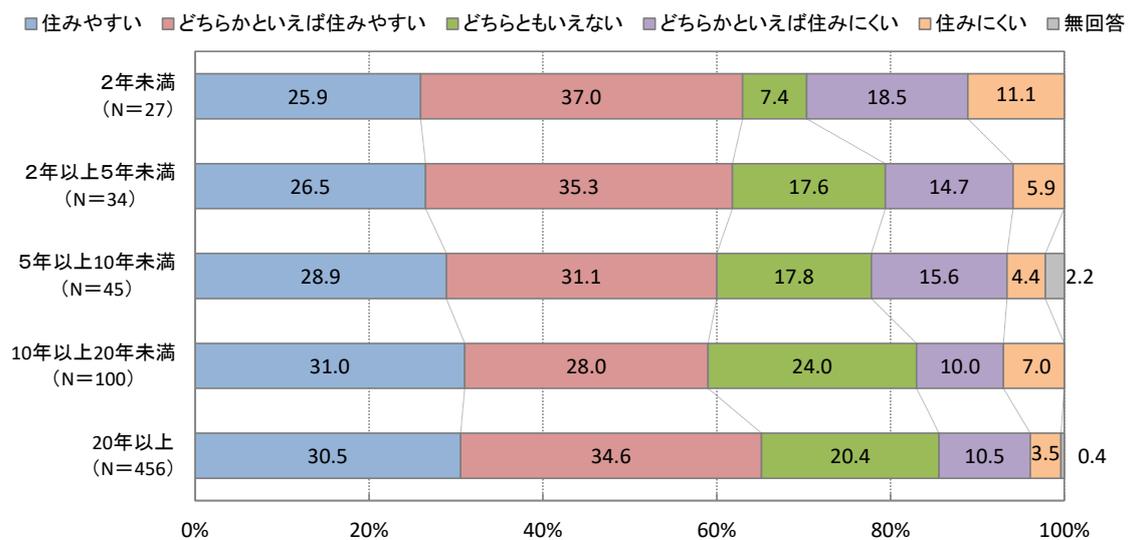
【南大隅町の住みやすさ】(居住地区別)



【南大隅町の住みやすさ】（年齢別）



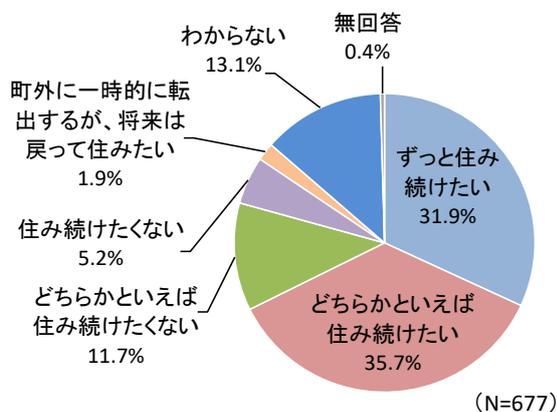
【南大隅町の住みやすさ】（町内での居住年数別）



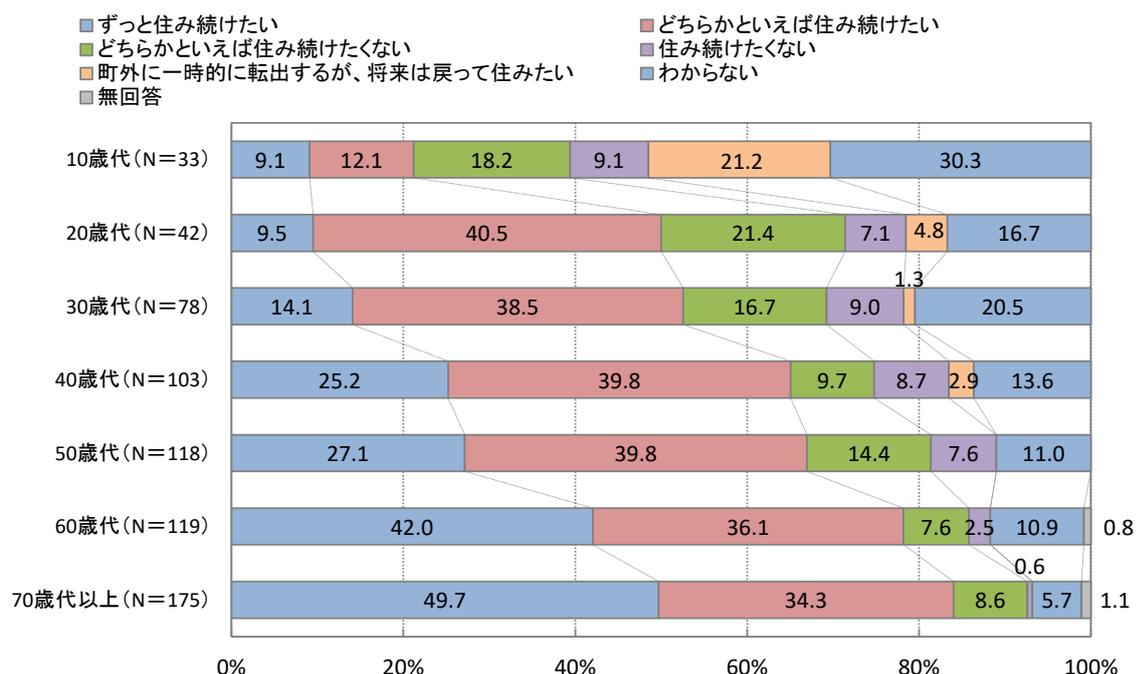
② 定住意向

- 定住意向については、「ずっと住み続けたい」が31.9%、「どちらかといえば住み続けたい」が35.7%となっている。また、「町外に一時的に転出するが、将来は戻って住みたい」が1.9%となっており、この3項目を合わせた『住み続けたい』が69.5%で約7割を占めている。
- その一方で、「どちらかといえば住み続けたくない」が11.7%、「住み続けたくない」が5.2%となっており、この2項目を合わせた『住み続けたくない』は16.9%となっている。なお、「わからない」は13.1%となっている。
- 年齢別にみると、『住み続けたい』は10歳代で約4割、20～30歳代で約半数、40～50歳代で6～7割、60歳代以上で約8割を占めており、年齢層が高くなるほど多くなっている。

【定住意向】



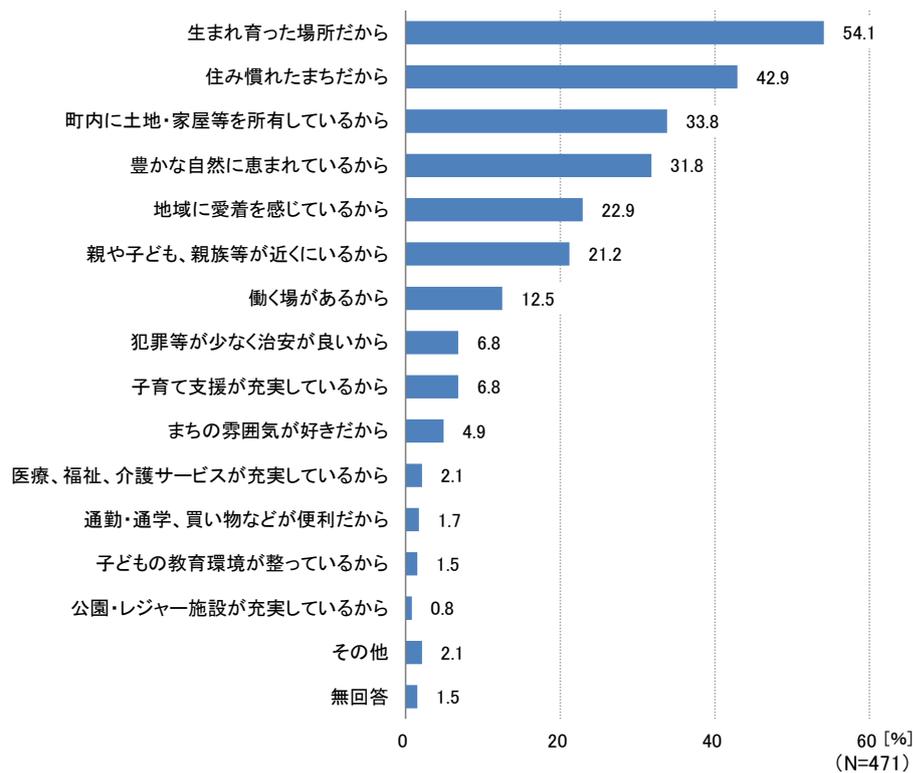
【定住意向】（年齢別）



③ 住み続けたい、戻って住みたい理由

- 住み続けたい、戻って住みたい理由については、「生まれ育った場所だから」が54.1%で最も多く、次いで「住み慣れたまちだから」(42.9%)、「町内に土地・家屋等を所有しているから」(33.8%)となっている。

【住み続けたい、戻って住みたい理由】

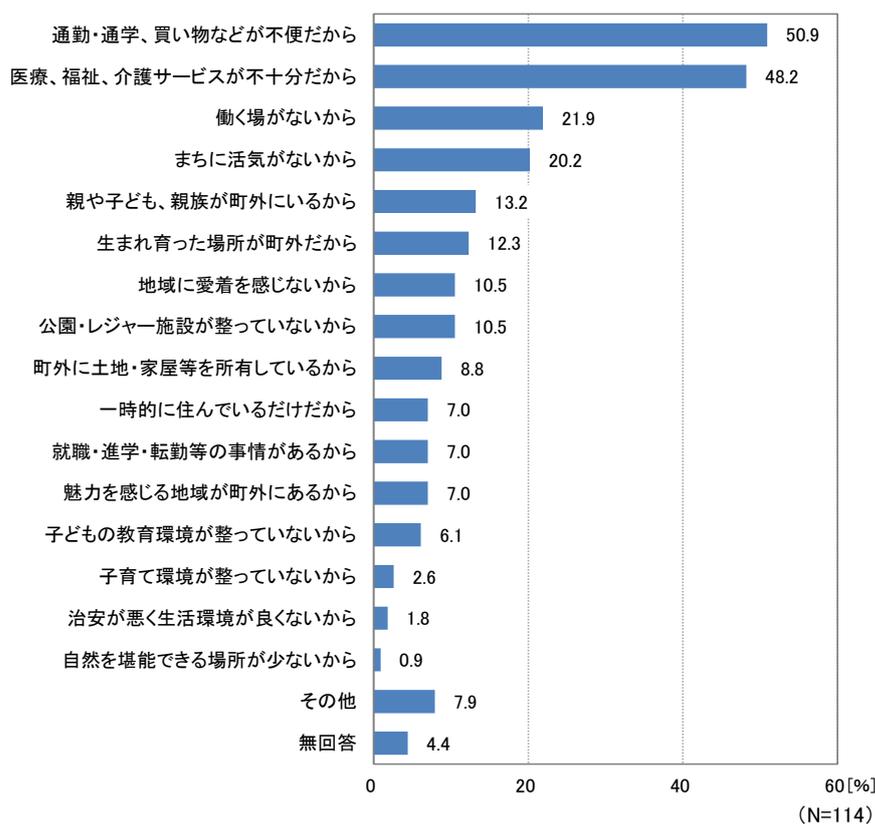


※複数回答

④ 住み続けたくない理由

- 住み続けたくない理由については、「通勤・通学、買い物などが不便だから」が50.9%で最も多く、次いで「医療、福祉、介護サービスが不十分だから」(48.2%)、「働く場がないから」(21.9%)となっている。

【住み続けたくない理由】



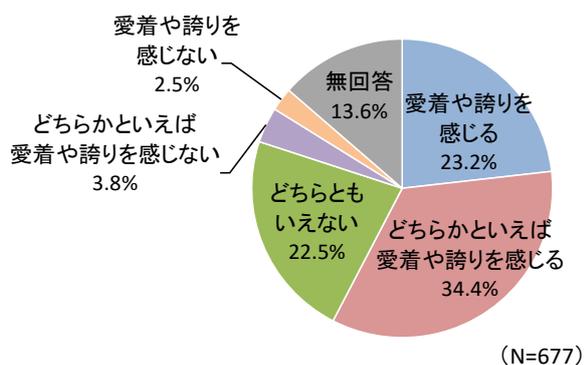
※複数回答

2) 南大隅町に対する愛着や誇りについて

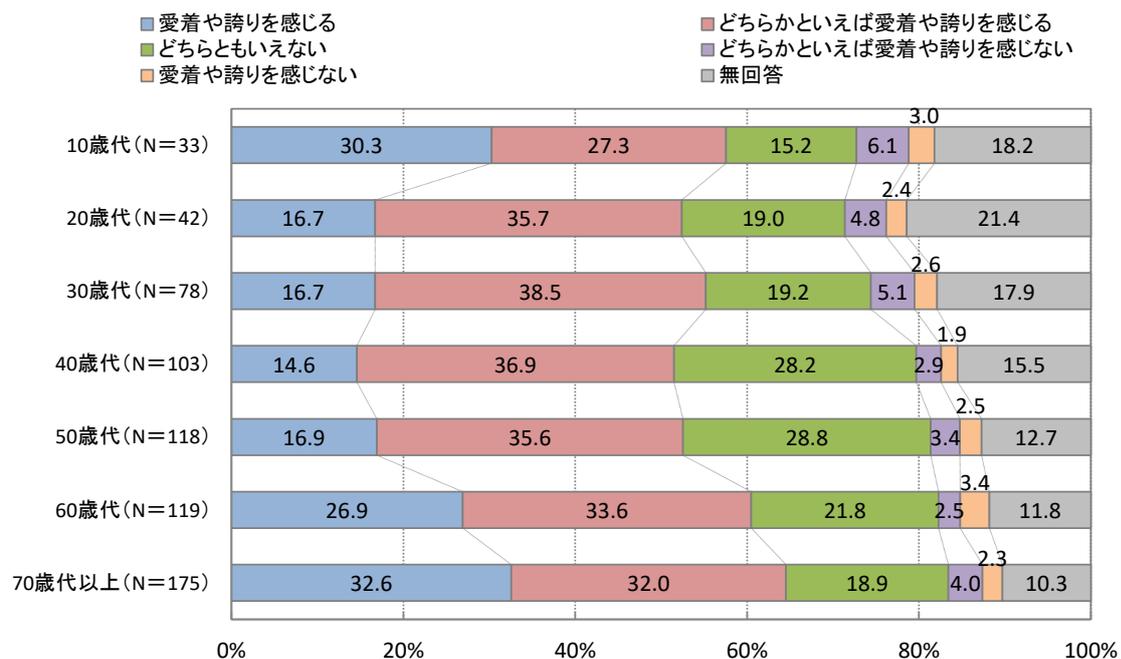
① 南大隅町に対する愛着や誇りの有無

- 南大隅町に対する愛着や誇りの有無については、「愛着や誇りを感じる」が23.2%、「どちらかといえば愛着や誇りを感じる」が34.4%となっており、この2項目を合わせた『愛着や誇りを感じる』が57.6%で約6割を占めている。
- その一方で、「どちらかといえば愛着や誇りを感じない」が3.8%、「愛着や誇りを感じない」が2.5%となっており、この2項目を合わせた『愛着や誇りを感じない』は6.3%となっている。なお、「どちらともいえない」は22.5%となっている。
- 年齢別にみると、『愛着や誇りを感じる』は50歳代以下で約半数、60歳代以上で6割を超えている。

【南大隅町に対する愛着や誇りの有無】



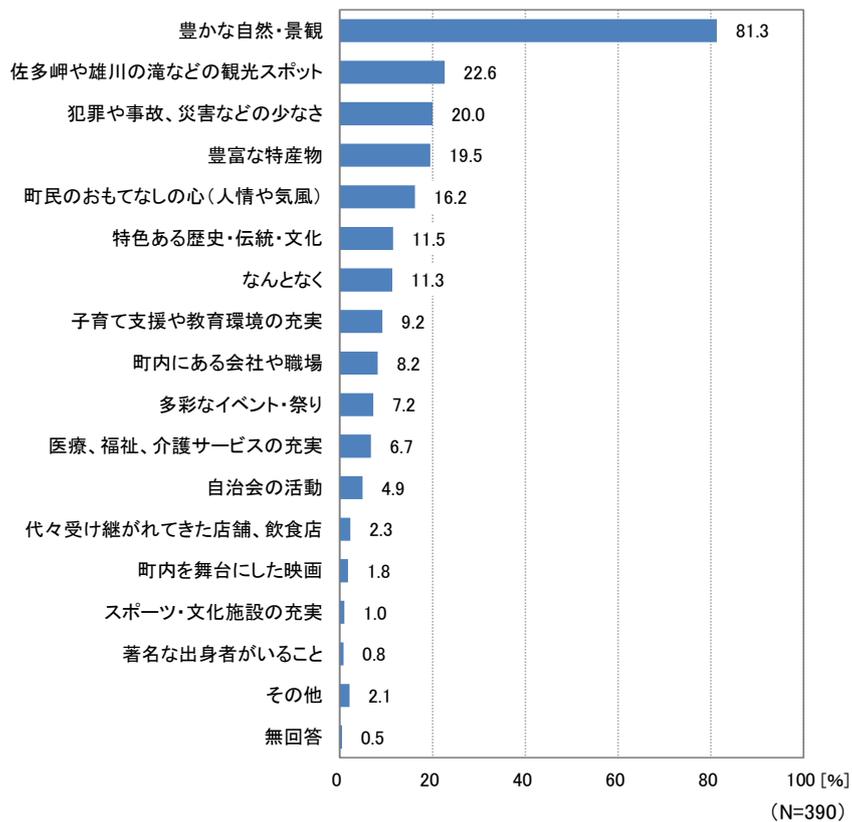
【南大隅町に対する愛着や誇りの有無】(年齢別)



② 愛着や誇りを感じる点

- 愛着や誇りを感じる点については、「豊かな自然・景観」が81.3%で8割を超え、突出して最も多く、次いで「佐多岬や雄川の滝などの観光スポット」(22.6%)、「犯罪や事故、災害などの少なさ」(20.0%)となっている。

【愛着や誇りを感じる点】



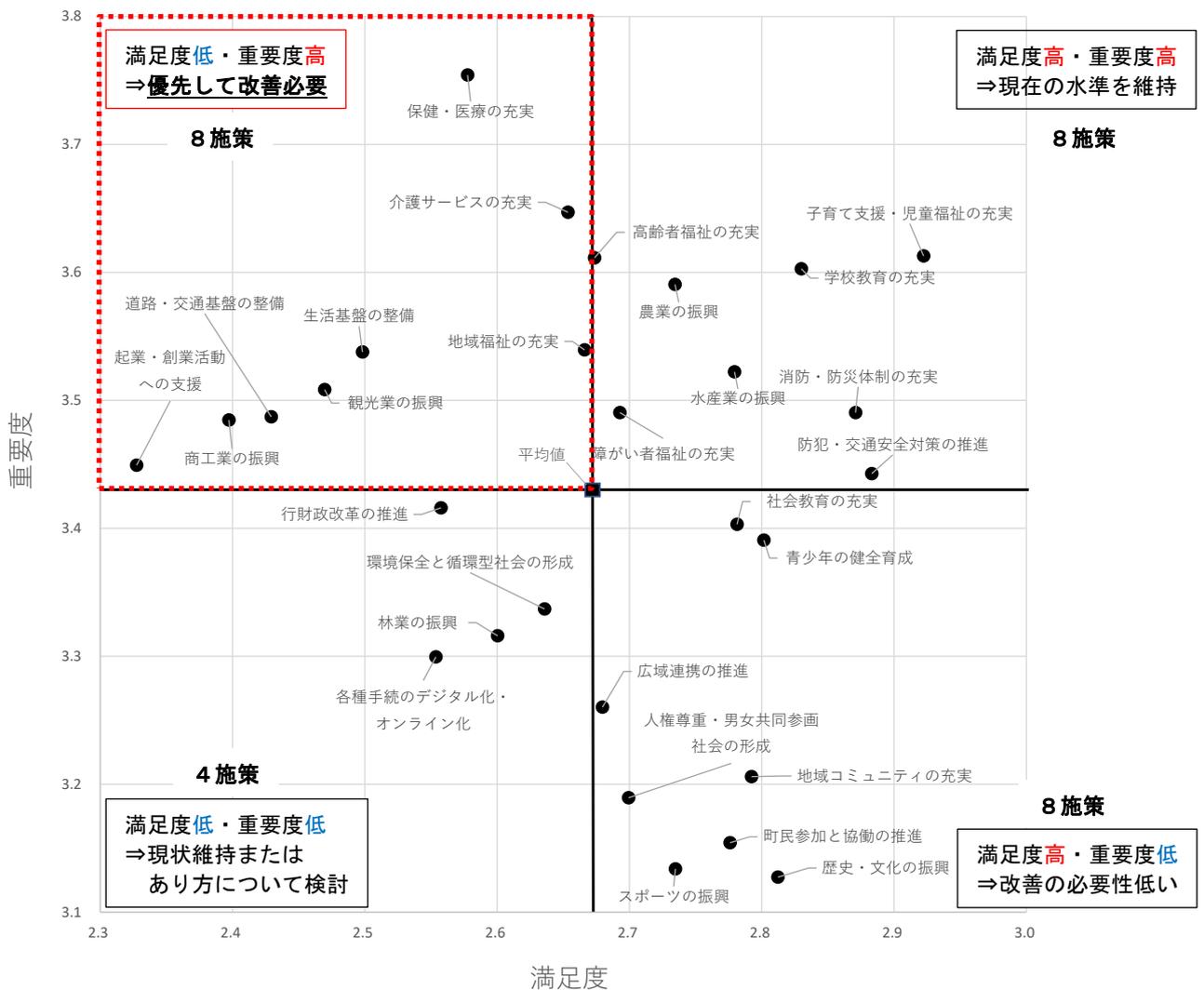
※複数回答

(3) 南大隅町の取組に対する評価等について

① 南大隅町の施策に対する現在の満足度・今後の重要度

- 南大隅町の 28 施策に対する現在の満足度と今後の重要度について、マトリックス分析の結果をみると、現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策は、「保健・医療の充実」、「介護サービスの充実」、「地域福祉の充実」、「生活基盤の整備」、「観光業の振興」、「道路・交通基盤の整備」、「商工業の振興」、「起業・創業活動への支援」の 8 施策となっている。

【南大隅町の施策に対する現在の満足度・今後の重要度】



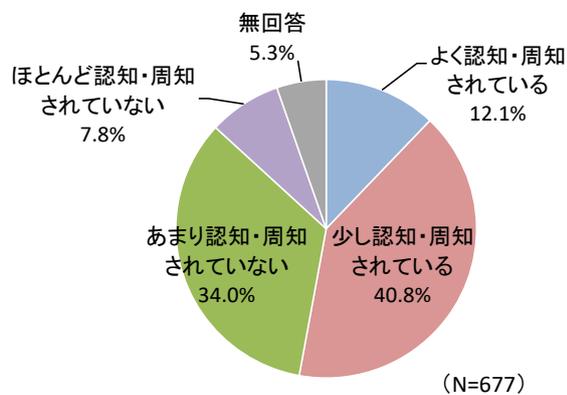
< 施策の満足度・重要度マトリックス分析について >

各施策に対し、満足度について「満足」と回答した件数に 4 点、「やや満足」に 3 点、「やや不満」に 2 点、「不満」に 1 点をそれぞれ乗じ、その合計を回答者数で除して当該施策の満足度として算出。重要度も同様に算出し、各施策の満足度、重要度を算出した後、x 軸を満足度、y 軸を重要度（全ての施策の満足度及び重要度の平均値を交点）として、散布図で表している。（平均値：満足度 2.67 重要度 3.43）

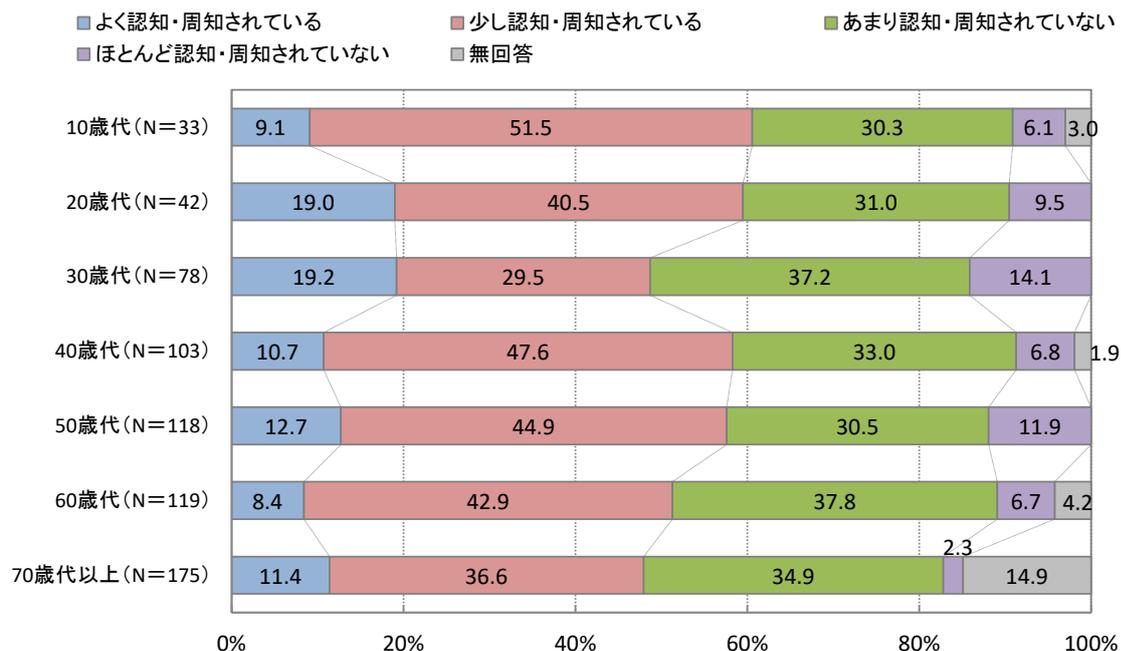
② 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する認知・周知度

- 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する認知・周知度については、「よく認知・周知されている」が12.1%、「少し認知・周知されている」が40.8%で、この2項目を合わせた『認知・周知されている』が52.9%で半数以上を占めている。
- その一方で、「あまり認知・周知されていない」が34.0%、「ほとんど認知・周知されていない」が7.8%となっており、この2項目を合わせた『認知・周知されていない』は41.8%となっている。
- 年齢別にみると、『認知・周知されている』は10～20歳代と40～50歳代で約6割、その他の年代では約半数となっている。

【各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する認知・周知度】



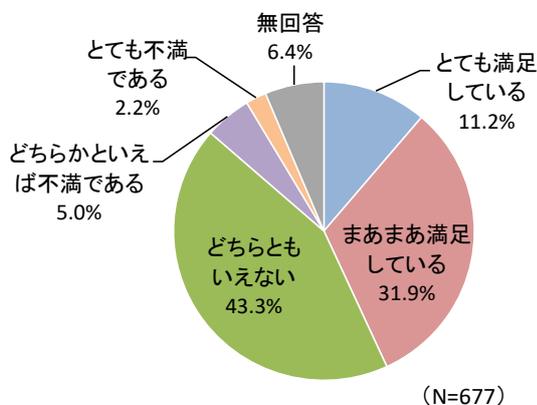
【各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する認知・周知度】（年齢別）



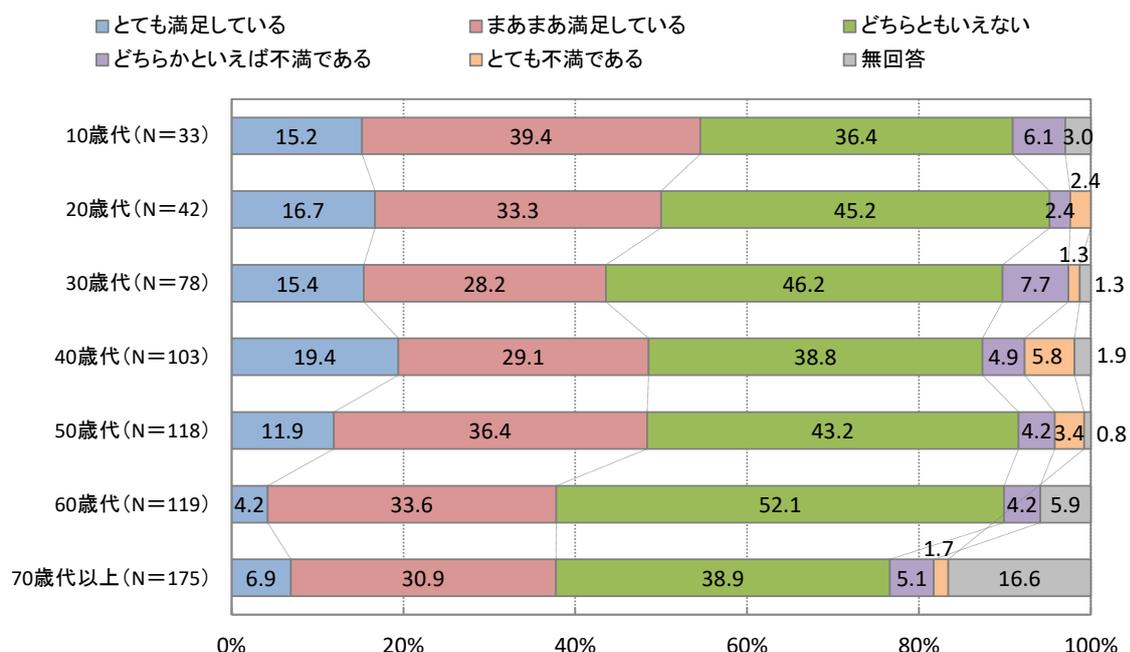
③ 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する満足度

- 各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する満足度については、「とても満足している」が11.2%、「まあまあ満足している」が31.9%で、この2項目を合わせた『満足している』が43.1%で約4割を占めている。
- その一方で、「どちらかといえば不満である」が5.0%、「とても不満である」が2.2%となっており、この2項目を合わせた『不満である』は7.2%となっている。なお、「どちらともいえない」は43.3%となっている。
- 年齢別にみると、『満足している』は10歳代で約6割、20歳代と40～50歳代で約半数、その他の年代では約4割となっている。

【各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する満足度】



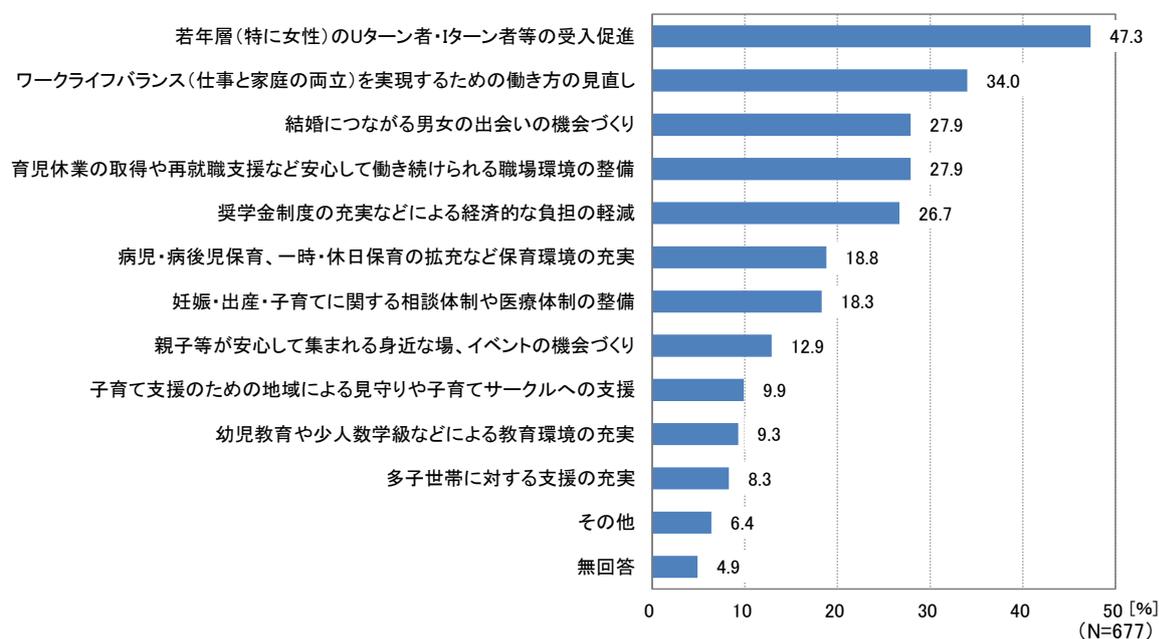
【各種保育サービスの充実や医療費助成の取組に対する満足度】(年齢別)



④ 少子化対策で南大隅町が力を入れて取り組むべきこと

- 少子化対策で南大隅町が力を入れて取り組むべきことについては、「若年層（特に女性）のUターン者・Iターン者等の受入促進」が47.3%で最も多く、次いで「ワークライフバランス（仕事と家庭の両立）を実現するための働き方の見直し」（34.0%）、「結婚につながる男女の出会いの機会づくり」と「育児休業の取得や再就職支援など安心して働き続けられる職場環境の整備」がともに（27.9%）となっている。

【少子化対策で南大隅町が力を入れて取り組むべきこと】



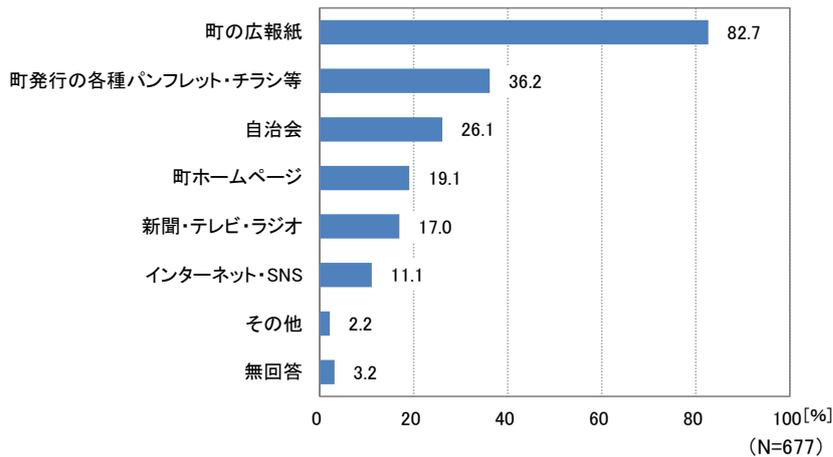
※複数回答

(4) 町民の地域づくりへの参加等について

① 南大隅町に関する情報の収集手段

- 南大隅町に関する情報の収集手段については、「町の広報紙」が 82.7%で最も多く、次いで「町発行の各種パンフレット・チラシ等」(36.2%)、「自治会」(26.1%)となっている。

【南大隅町に関する情報の収集手段】

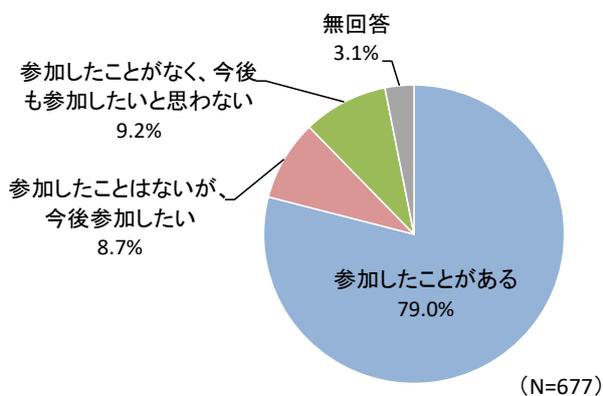


※複数回答

② 地域活動への参加経験の有無

- 地域活動への参加経験の有無については、「参加したことがある」が 79.0%で約 8 割を占めており、「参加したことはないが、今後参加したい」が 8.7%、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」が 9.2%、「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」が 9.2%となっている。

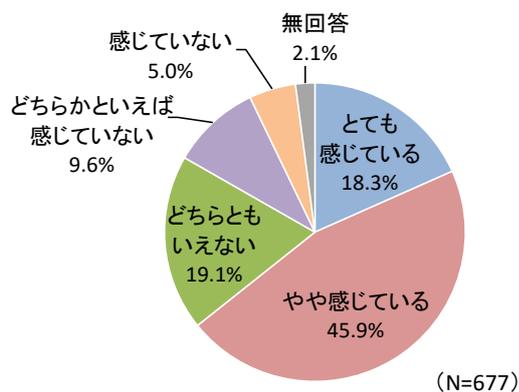
【地域活動への参加経験の有無】



③ 現在の健康状況

- 現在、健康であると感じているかについては、「とても感じている」が 18.3%、「やや感じている」が 45.9%となっており、この2項目を合わせた『健康と感じている』が 64.2%で6割を超えている。
- その一方で、「どちらかといえば感じていない」が 9.6%、「感じていない」が 5.0%となっており、この2項目を合わせた『健康と感じていない』は 14.6%となっている。なお、「どちらともいえない」は 19.1%となっている。

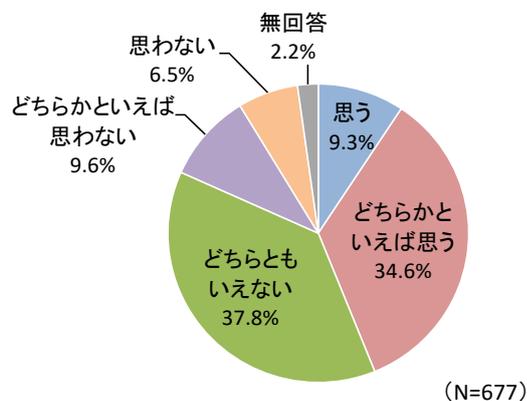
【現在の健康状況】



④ 町民と協働したまちづくりへの取組に対する評価

- 南大隅町が町民と協働してまちづくりに取り組んでいるかについて、「思う」が 9.3%、「どちらかといえば思う」が 34.6%となっており、この2項目を合わせた『思う』が 43.9%となっている。
- その一方で、「どちらかといえば思わない」が 9.6%、「思わない」が 6.5%となっており、この2項目を合わせた『思わない』は 16.1%となっている。なお、「どちらともいえない」は 37.8%となっている。

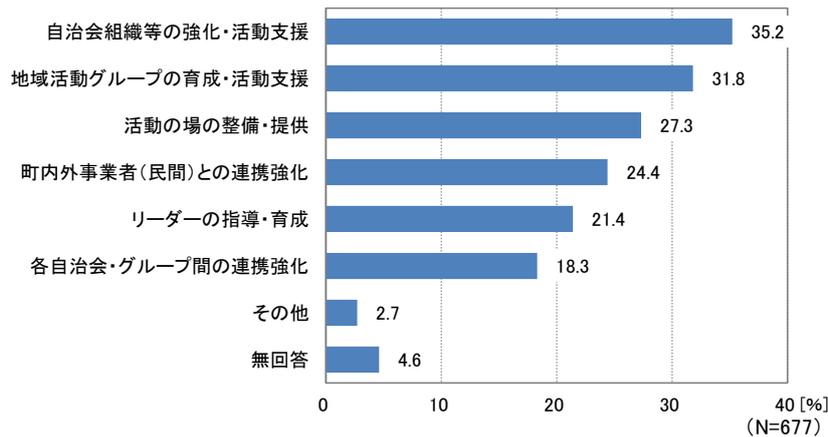
【町民と協働したまちづくりへの取組に対する評価】



⑤ 町民が主体となって活動するために町が取り組むべきこと

- 町民が主体となって活動するために町が取り組むべきことについては、「自治会組織等の強化・活動支援」が35.2%で最も多く、次いで「地域活動グループの育成・活動支援」(31.8%)、「活動の場の整備・提供」(27.3%)となっている。

【町民が主体となって活動するために町が取り組むべきこと】

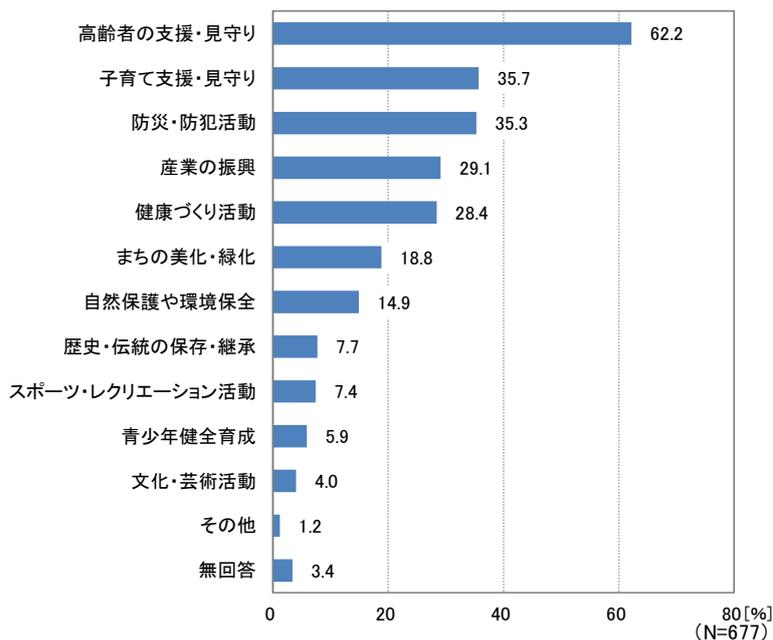


※複数回答

⑥ 地域や町民ができること、やるべきこと

- 地域や町民ができること、やるべきことについては、「高齢者の支援・見守り」が62.2%で最も多く、次いで「子育て支援・見守り」(35.7%)、「防災・防犯活動」(35.3%)となっている。

【地域や町民ができること、やるべきこと】

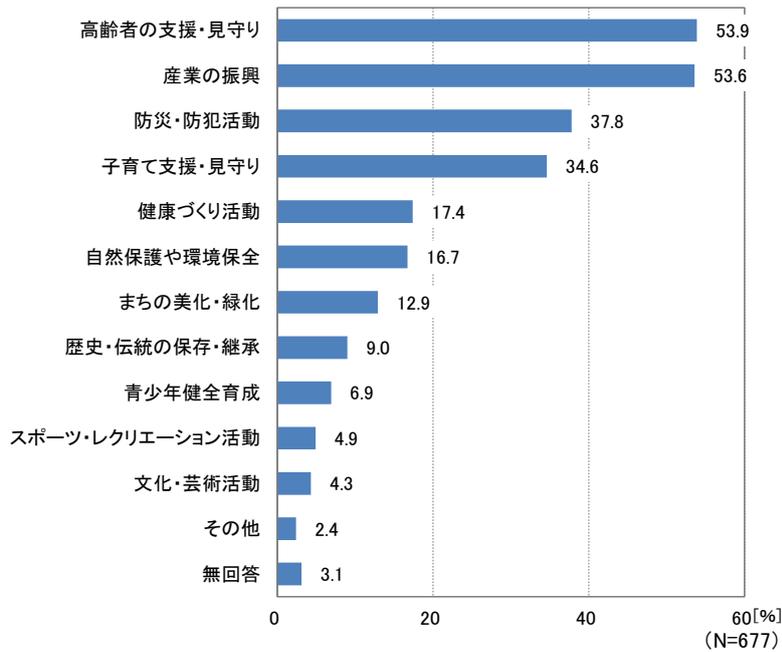


※複数回答

⑦ 行政が主体となって取り組むべきこと

- 行政が主体となって取り組むべきことについては、「高齢者の支援・見守り」が53.9%で最も多く、次いで「産業の振興」(53.6%)、「防災・防犯活動」(37.8%)となっている。

【行政が主体となって取り組むべきこと】



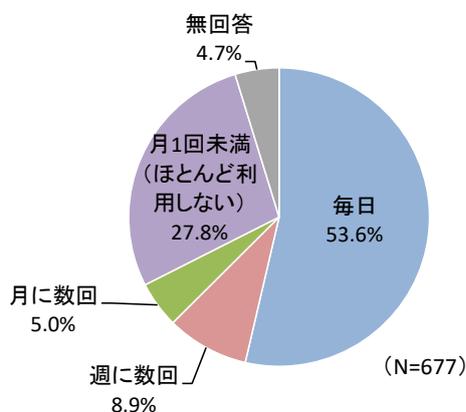
※複数回答

(5) デジタル技術の活用について

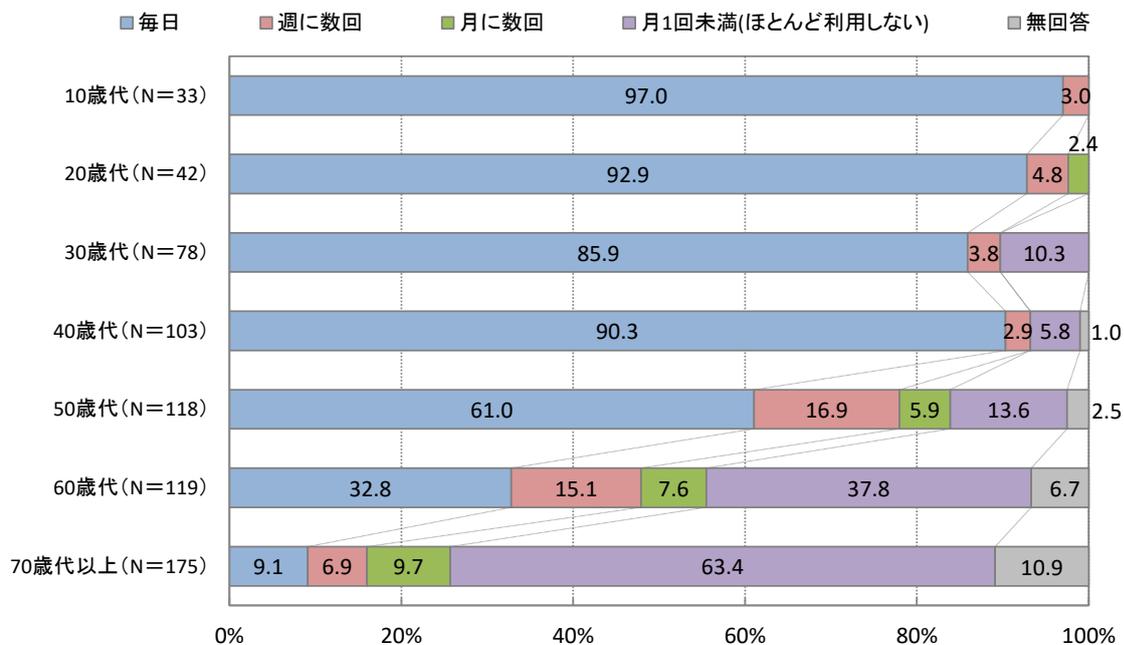
① インターネットの利用頻度

- インターネットの利用頻度については、「毎日」が 53.6%で半数以上を占めており、「週に数回」が 8.9%、「月に数回」が 5.0%となっている、その一方で、「月1回未満（ほとんど利用しない）」が 27.8%となっている。
- 年齢別にみると、「毎日」は 40 歳代以下で 8 割以上、50 歳代で 6 割を超えている。その一方で、60 歳代以上は「月1回未満（ほとんど利用しない）」が最も多くなっている。

【インターネットの利用頻度】



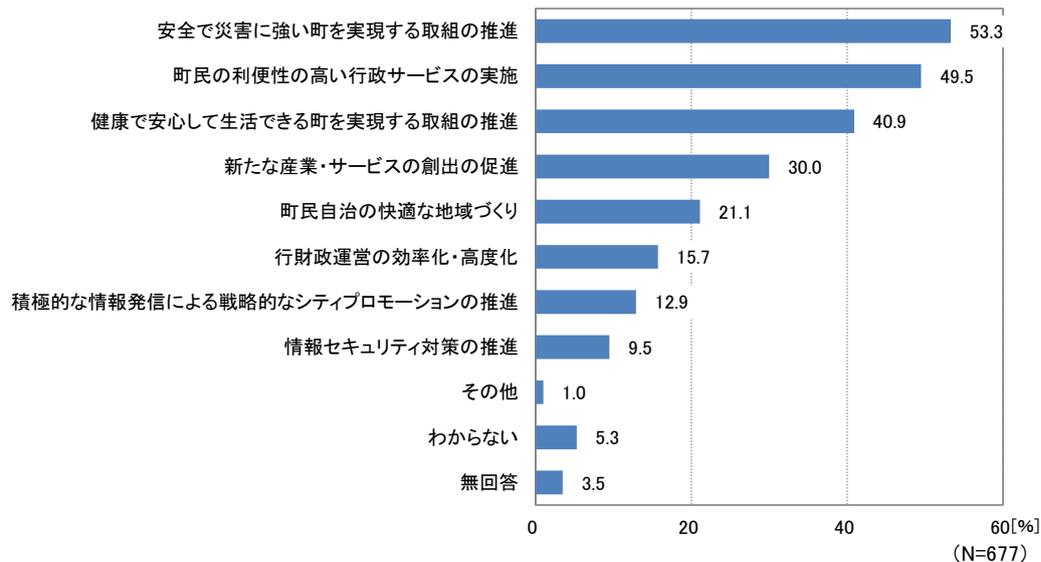
【インターネットの利用頻度】（年齢別）



② 南大隅町が情報化施策で優先して取り組むべき課題

- 南大隅町が情報化施策で優先して取り組むべき課題については、「安全で災害に強い町を実現する取組の推進」が53.3%で最も多く、次いで「町民の利便性の高い行政サービスの実施」(49.5%)、「健康で安心して生活できる町を実現する取組の推進」(40.9%)となっている。

【南大隅町が情報化施策で優先して取り組むべき課題】



※複数回答

③ 情報化を望んでいる分野について具体的に望むこと

- 情報化を望んでいる分野について具体的に望むことについては、全体では「手続きを簡単に、わかりやすくできるようにしてほしい」が51.8%で最も多く、次いで「もっとわかりやすい情報提供をしてほしい」(38.0%)、「より多くの情報を提供してほしい」(26.6%)となっている。
- 分野別でみると、ほとんどの分野で「手続きを簡単に、わかりやすくできるようにしてほしい」が最も多く、積極的な情報発信による戦略的なシティプロモーションの推進では「より多くの情報を提供してほしい」が最も多くなっている。

【情報化を望んでいる分野について具体的に望むこと】

上段:度数 下段:%	合計	より多くの情報を提供してほしい	もっとわかりやすい情報提供をしてほしい	手続きを簡単に、わかりやすくできるようにしてほしい	自由な時間に手続きできるようにしてほしい	情報交換や情報共有ができるようにしてほしい	町や事業者から提供されるサービスの質を向上してほしい	行政の窓口以外で手続きができるようにしてほしい	手続きを短時間に済ませることができるようにしてほしい	その他	わからない	無回答	
全体	653 100.0	174 26.6	248 38.0	338 51.8	164 25.1	87 13.3	113 17.3	129 19.8	156 23.9	6 0.9	27 4.1	44 6.7	
安全で災害に強い町を実現する取組の推進	361 100.0	114 31.6	169 46.8	198 54.8	91 25.2	54 15.0	61 16.9	76 21.1	89 24.7	4 1.1	4 1.1	15 4.2	
健康で安心して生活できる町を実現する取組の推進	277 100.0	82 29.6	127 45.8	160 57.8	59 21.3	37 13.4	50 18.1	53 19.1	68 24.5	-	7 2.5	12 4.3	
町民の利便性の高い行政サービスの実施	335 100.0	90 26.9	134 40.0	207 61.8	207 28.1	94 13.1	44 20.3	68 26.0	87 26.6	1 0.3	4 1.2	16 4.8	
新たな産業・サービスの創出の促進	203 100.0	56 27.6	70 34.5	109 53.7	109 29.1	59 17.7	36 22.2	45 18.7	56 27.6	5 2.5	3 1.5	10 4.9	
積極的な情報発信による戦略的なシティプロモーションの推進	87 100.0	38 43.7	29 33.3	34 39.1	34 39.1	22 25.3	24 27.6	20 23.0	19 21.8	2 2.3	-	2 2.3	
町民自治の快適な地域づくり	143 100.0	36 25.2	56 39.2	80 55.9	80 24.5	35 18.2	26 19.6	28 19.6	31 21.7	42 29.4	-	5 3.5	9 6.3
行財政運営の効率化・高度化	106 100.0	18 17.0	30 28.3	62 58.5	62 37.7	40 14.2	25 23.6	33 31.1	35 33.0	2 1.9	1 0.9	7 6.6	
情報セキュリティ対策の推進	64 100.0	19 29.7	20 31.3	40 62.5	40 39.1	25 14.1	9 17.2	11 18.8	12 35.9	23 1.6	1 1.6	1 1.6	
その他	7 100.0	-	1 14.3	5 71.4	4 57.1	-	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	-	-	
わからない	36 100.0	4 11.1	4 11.1	3 8.3	3 8.3	-	-	1 2.8	1 2.8	-	16 44.4	13 36.1	

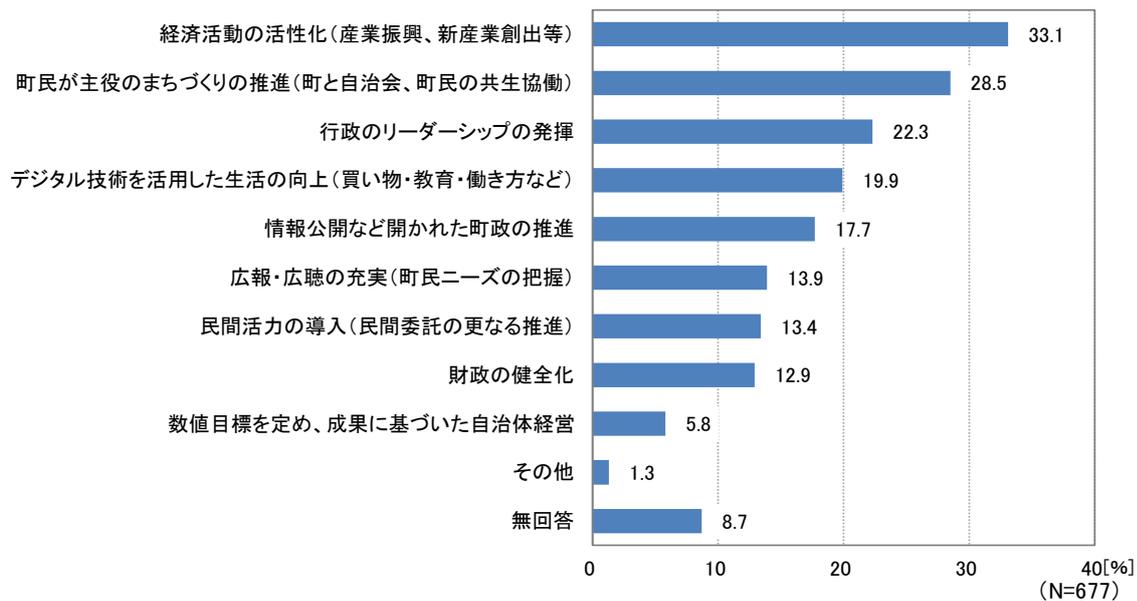
※複数回答

(6) 今後の南大隅町のまちづくりについて

① 南大隅町を魅力的なまちにするために町政に望む取組

- 南大隅町を魅力的なまちにするために町政に望む取組については、「経済活動の活性化（産業振興、新産業創出等）」が33.1%で最も多く、次いで「町民が主役のまちづくりの推進（町と自治会、町民の共生協働）」（28.5%）、「行政のリーダーシップの発揮」（22.3%）となっている。

【南大隅町を魅力的なまちにするために町政に望む取組】

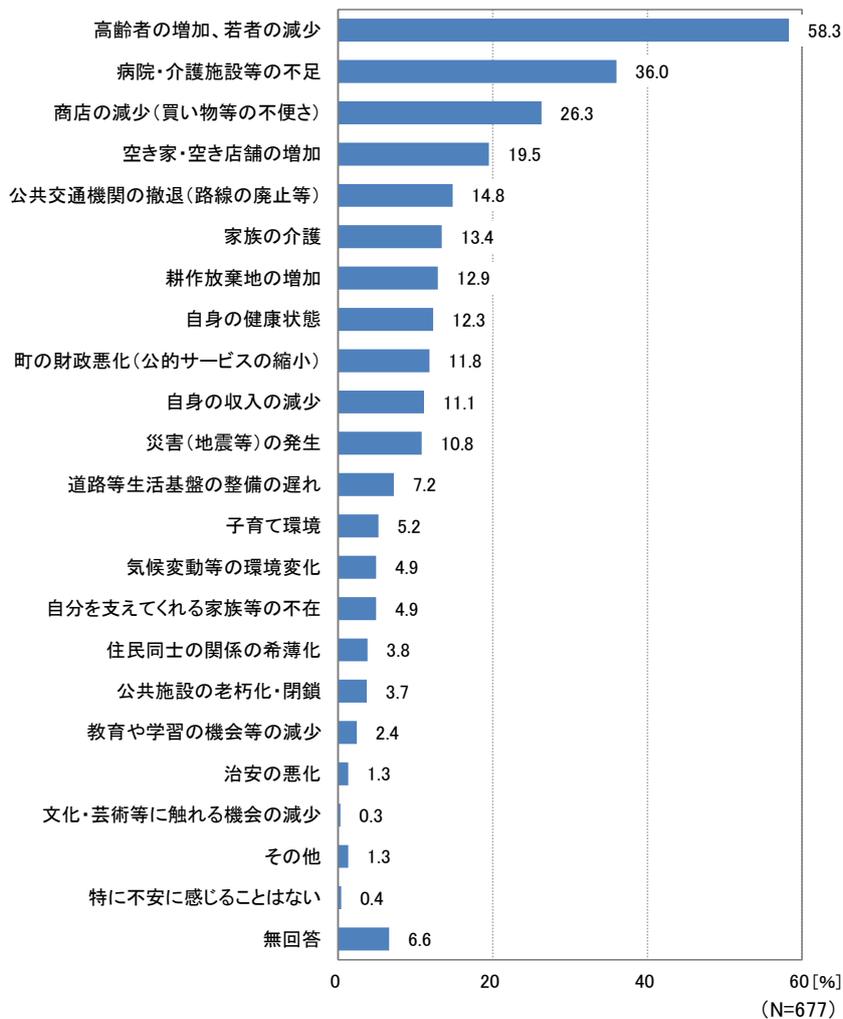


※複数回答

② 将来を考えた時、特に不安に感じること

- 将来を考えた時、特に不安に感じることについては、「高齢者の増加、若者の減少」が58.3%で最も多く、次いで「病院・介護施設等の不足」(36.0%)、「商店の減少(買い物等の不便さ)」(26.3%)となっている。

【将来を考えた時、特に不安に感じること】



※複数回答

③ 南大隅町が目指す将来像としてふさわしい言葉

- 南大隅町が目指す将来像としてふさわしい言葉について、263 件の回答があり、年齢別にみると以下のような言葉が挙げられている。

【年齢別にみた南大隅町が目指す将来像としてふさわしい言葉】

年齢	ふさわしい言葉
10 歳代	釣りの町南大隅町 慈愛 安心できる場所 自然豊かな町 釣りの町をアピールしたら良いと思う 充実した生活を送れるところ 世代を超えて 住みやすい町「みんな成長」 希望安全・安心 町の美化 元気あふれる！ 次世代 子育てのしやすい町づくり 高齢者も若者も元気を活力を 願い 若者を増加させるための町づくり 若者を中心としたイベント「愛される」
20 歳代	景色を生かした町 安心できる暮らし 豊かな自然 活気ある町 交通安全 場所と人とが共生する 明るく、楽しく支えあい 田舎だから出来ること 自由・正義 天と地と人と共生 差別なくともに成長 一人ひとりの心の声に耳を傾ける シンプル 小さくて強い組織づくり 安泰・活気 整理・安定 活力 安心 安心安全 経済と住みやすさ 着実に確実に 元気 観光・産業 時世代につながるまちづくり 定住したくなる町づくり
30 歳代	子育て支援 世代交代 若者にメリットを！！ 元気で自由 周辺地域と共に成長 介護保険料額＝良質な介護サービス 今ある資源の有効活用 「田舎魂」「ここからはじめる」「ここにいたい」「ここで生きていく」 元気ハツラツ 核のゴミ・産業廃棄物に NO 豊かな自然・自給率の高い町 笑顔 みんな輝きみな笑う 魅力発信 「活気ある町」「人とのつながり」 子どもがのびのび育つ町 共生・協働 地域が家族 活力・活気 デジタル活用した地方創生 成長・発展の町 助け合い 福祉の充実 安心 活気！ 不正をしないクリーンなまちづくり・人に優しくする 不便さの改善 産業振興 産業活性 さまざまな枠を超えて想像 住民同士が手と手を取り合う 情報化 笑顔あふれる町 認め合い 観光施設増加活性化
40 歳代	「誰かがどこかで」ではなく、「誰でもどこでも」活躍できることが望ましい 若い力 自然と森へ同化 消えゆく町・廃町 違っていていい 実現 夢ある町 豊かな自然 住み続けられる安心感 持続可能な地域・環境教育 住民総出の地域・環境教育 温かい気候と気風で落ち着ける町 最南端から最先端の少子高齢化対策の町づくり 「つなぐ」親から子へ・子から孫へ・南から北へ・東から西へ ゆっくりと進む 自然と共生 熱意ある取り組み・関わり 輝く未来 共に助け合う 自由に生きることが出来る環境作り いつまでも住みやすいまちづくり 明るく活気のある町 安心して住める町 釣りの町 幅広い世代に便利・安心・安全 障がい者・要介護支援者に優しい 老後の不安解消 子育てしやすい環境 明るくて活気がある 若者が希望を持てる 不便さを感じない 笑顔が集まる町 本土最南端 温かい(気候・人) 世の中のスピードから離れられる町！ 経済活性化 スクラップ&ビルド 安心・安全 安定 自然と共生 みんなウェルカム 活気 持続可能な町 いきいきと輝やく活気溢れる町 共存 皆に寄り添う 所得倍増による生活の活性化 自然 観光 楽しい未来 多様性の受け入れ・脱公務員的思考 勝つことが重要ではなく、何事にも負けないことが重要だと思います 誰も置いてけぼりをくらない生きやす町 明るく、楽しく
50 歳代	みんながいきいきと輝く町 また来たい町 本土最南端から元気を発信 豊かな暮らし 自然と生きる 田舎は田舎なりに 生活環境の維持 デジタルの推進 綺麗な町の未来 笑顔・愛情を持って暮らすこと 自主・安心 のどかな町 魅力的な海と山 本土最南端であることを活かした観光、農産物、畜産物の強化 安心して暮らせる南大隅町 新しい(次の)時代への開拓者精神の育成 自然と共生 「最南端は最先端」 風は南から！ 住みやすい町 活気・活力 人ありき町 自然と共生 魅力ある活力ある町 自立 南大隅町の資源と魅力を活かす(人材も) 最南端から世界へ 昔は南蛮船交流で外国を向いていた土地 改めて佐多の港等から外国へ輸出出来る様にすればいい 「健康・元気」 自然豊かな町 自然と共生 町民がいきいきと輝く 病人の少ない町 活気 住み続けられる町 町に若者が帰ってくる体制 不便を売りに 安心・安全 自然と共生 とともに生きる 安心、安全 サービスの広報の充実(こんなことも出来るのか) 宣伝活動をする 介護予防 自ら考え・行動ひとが財(たから) 観光 安心 明るい未来 今ある人・知恵と共に新しい人・情報と共に前進 住んでみたい・行ってみたい南大隅町 人口増加 安心、安全

【年齢別にみた南大隅町が目指す将来像としてふさわしい言葉（続き）】

年齢	ふさわしい言葉
60 歳代	<p>「心のバランス」 朋友 自然と共生 活気・活力 豊かさ 南国 自然と共存 安心・安全 士気高揚＝集団で事を起こす時に全員の熱意や意気込みが高まる 活気・活力 I・Uターンの推進 子供の環境整備 とにかく若者を呼び込む施策 みんながいきいき暮らす町づくり 美と健康 慣例の打破 元気でピン・コロリ！ 安心して暮らせる事 住みたくなる町づくり 町民のための町民の声を聴く町政 安心・安全 公平な行政 全ての住民に寄り添う行政 安心で見守の充実 行ってみたい南大隅町 もっとにぎやかに 輝き続け町も人も！ 活気・活力 「自社確立」南大隅町を一つの会社と見据える いずれ国も役に立たない時が来るであろうと思うので、その際にここ南大隅町は自分達の力で生きていかなければならないでしょう。その時にここにいる人間が生～死まで受け止めて生きていく力を持ち続けていかなければならない 毎日が笑顔 未来に希望を！ 楽しい老後 「笑顔」 町民が健康 生かされている事に毎日感謝して過ごせる健康 共存共栄 町民に親切な行政 未来永劫自然豊かな町 老後も不安なし 行政能力の向上 活性化 住みやすく働きやすい 「廻る（まわる）活力」（周囲を取り込み、高齢者から若者へ、若者から高齢者へとみんなが元気になる） 「安心・安全」 高齢化・人口減が進む中災害等の心配が一番 健康面（病気）も心配 安心して生活でき、安全に不安なく生活できること（拠点となる） 唯一無二の探求 「民信無くば立たず」→「満足の町へ」 子供達の声で溢れる 元気をみんなと共に共生 生活優先</p>
70 歳代 以上	<p>一歩前へ 飛躍（急速に進歩すること。勢いよく活動すること。飛び上がること。踊りだすこと）そして躍進（目覚ましい勢いで進出すること。急激に進歩・発展すること・勢いよく突進すること。踊りあがって進むこと） 偏らずに隅々にまで行き届いた行政 動ける間は働こう！ 「安心安全」「活気・活力」 「人口増加」「移住促進」「移住定住」「美味しい（うまい）を食す」 平穏無事こそ平和 安心・安全・いきいき輝き生きていける町 豊かな自然がある 自然を活かした町づくり 高齢者が自由に気軽に楽しめる場所づくり（コミュニティの場所づくり） 元気 生き生き 安心・安全 小さき声にも「耳」「顔」を！ 豊かな町南大隅町（佐多） 自然と私と新しい風 活力に満ちた町づくり 活気・活力 心のままにありがとう 夢があり、住みたい町 人と人とのつながりを大切に きっとできる希望の町 安心・安全 災害気候変動に強い町 毎日を楽しく・いきいきと 町民の声を聞き町民に寄り添い、何事のスピード感をもって取り組んでいく南大隅町 力強く生き抜く 健康で行動きばれ南大隅町 災害の少ない町 産業の誘致（若者の集まる町づくり） 安心・安全 明るい未来 社会性・文化性のある町民が増えて欲しい 田舎の良さを発信・体感 美しい村・美しい町 花ラウンド 花いっぱい町・村 各自自治会の連携 各自でいきいき活力 「人口増加」 あふれる自然と豊かな人情 思いやりと安心 心あたまるおもてなし 風通しのいい町 病気・健康 昔みたいにお隣さん同士のコミュニケーションをとり、「ともに助け合い成長」 元気な高齢者を目指すためのサポート 災害に強い町 過疎から脱却の町 地方創生 活気・活力 みんな仲良く 年に負けず元気で、勇気を出して、根気強く頑張る 「意識ある活動」 今日、1日を充実 健全に活力ある町づくり 安心して暮らせる町 若い移住者が増える事 企業の進出を期待している 「ありがとうと和合と強調」 チャレンジワクワクドキドキの町 ワクワク感の持てる町づくり 諦めなければ失敗とは言わない 奇抜、斬新 斬新奇抜、奇想天外</p>
無回答	<p>いきいきと輝く躍動する南大隅町 健康で共に成長 「老後は自然と共に」「子育てで自然の中で」</p>

(7) 今後の南大隅町のまちづくりなどに関する意見・要望等

- 今後の南大隅町のまちづくりなどに関してご意見・ご要望等を自由意見でいただいたところ、166件の回答があった。

【施策分野別意見数】

	施策分野	件数	構成比
1	産業分野	29件	17.5%
2	健康・医療・福祉・介護分野	14件	8.4%
3	教育・文化分野	4件	2.4%
4	生活基盤・環境分野	39件	23.5%
5	行財政分野	38件	22.9%
6	まちづくり全般・その他	42件	25.3%
	合計	166件	100.0%

【今後の南大隅町のまちづくりなどに関する意見・要望等】

1. 産業分野

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	40 歳代	コロナ禍で自粛していた様々なイベントを開催して、まずは町全体を元気あるものにしてほしい。
根占川北	40 歳代	また映画を作ってください
根占川北	50 歳代	辻岳は素晴らしい観光資源だと思う。定期的な登山道の整備や清掃登山などしてほしい。釣りやバイクツーリングなどで、もっと人を呼べると思う。
根占川北	50 歳代	人口減少は全国的な問題です。本町に「働く場」「稼げる場」が無ければ人口減少は更に加速します。他市町村より少ない人口人材では各分野において「リーダー」が必要と考えます。早期継承と人材育成に取り組まれることを切望します。
根占川北	50 歳代	今後も温泉のない町など考えられません。ネッピー温泉にはわざわざ遠方から入りに来られる方もいらっしゃると思います。重要な観光資源であり、高齢者の日々の楽しみであり、生き甲斐、健康に寄与し、交流の場でもあるようです。これからも存続するよう、町内外へのさらなるアピール、情報発信を切にお願いします。
根占川北	60 歳代	年々人口が減少しているのに、何ひとつまとまりを感じない。小さな塊がいくつもあり、それぞれ違う方向で頑張っているという気がしている。南大隅町といえば〇〇というように、少ない人数が大きな塊となって、ひとつの物（特産品等）に取り組めば戦力となると思う。町がリーダーシップをとって、この気候風土に合うものを見つけて提案するなどしてほしい。国内のみならず、世界を相手に唯一無二の物で挑戦してほしい。外に目を向けるのはその後だと思ふ。南大隅町なら何が出来るのかを熟考してほしい。
根占川北	60 歳代	企業の誘致
根占川北	70 歳代 以上	本町は自然に恵まれているのに活かしきれていないと思う。農産物、漁業等を活かして、本町にしか出来ない物を作り出してほしい。また、宿泊施設が少なく、そのせいで日帰りの客が多いと思う。
根占川北	70 歳代 以上	第一次産業の推進には、今までの施策を再度見直す必要があると思う（急速に進行している高齢化等に対応するため）。福祉の充実は言うまでもないが、現場で働くスタッフ等の確保及び働く環境の整備を望む。
根占川北	70 歳代 以上	農業の振興をしてほしい。
根占川北	70 歳代 以上	報道によると、25 年後の南大隅は人口が半減しているとのことなので、今後町が生き残るには企業誘致（大企業等の工場）しかない。誘致課の設置、または誘致専門の職員を配置し、全国、世界に以下を発信するべき。「南大隅へ来て下さる企業には最大 3～5 億円のサポートをする」「国の地方創生関係補助金を活用する」
根占川南	30 歳代	若者が働ける企業を誘致してほしい。
根占川南	40 歳代	綺麗な町ですので、引き続き継続していき、観光業により力を入れていただけるといいかと思ひます。

1. 産業分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占川南	50 歳代	「食」を中心にしたまちづくりをお願いしたい。世界的に食料不足が危惧されている。いざとなったとき不安。農畜産、水産業は今現在まだまだ担い手もいて、技術を伝えられる人材がいる。安心して住み続けられるよう「食」を中心にまちづくりをしていただきたい。町内はまだ他と比較して食料自給率は高いのかもしれないが、それは今、元気な高齢者が第一次産業を担っていて、また、家庭菜園も盛んだからなのでは、と感じている。この人たちが元気な今、新規で入ってくる人も安心して技術の伝授も出来ているが、もっと危機的な将来に備えて、町民が各家庭でも野菜を作って食べられる術を持ってほしいのではと思う。野菜栽培の伝授の交流場所、みそや伝統料理など伝授してもらえ交流も必要な気がする。今伝えてもらわないと、伝えていけなくなるのではと危機感がある。そうすることによって、田畑の環境保全、第一次産業の担い手育成、加工業や食の提供場所などの起業にもつながるのではないかと。食べ物がなければ人は生きていけない。町内で作った食べ物を安心して食べられると健康にもつながり、長生きにも、また健全な子育ても出来ると思う。
根占川南	60 歳代	ドラゴンとみかんちゃんのキャラクターはとてもいいので、もっと色々な事に利用すべきではないでしょうか。雄川の滝は少しずつでもお金を生むようにするべきです。近くで根占のお米や新ジャガなどを売れば、きっと喜ばれると思います。
根占川南	70 歳代以上	いつも思う事だが、高齢者の働く場所がほしい。
根占辺田	30 歳代	農業をよろしく願います
根占辺田	50 歳代	南大隅町には東京農大の学生が出入りしているようなので、その若い人の知恵を借りて耕作放棄地や休耕田を有効活用してもらってはどうか。観光客が道の駅やお店の営業時間後もお土産が買えるように、24 時間営業の自動販売機を作ってはどうか。また、佐多岬燈台のキャラクターグッズを制作し、佐多岬のお店で売ったら良いと思う。
根占山本	40 歳代	働く場がないと、人口は減っていくばかりです。
根占山本	50 歳代	働く場所が必要だと思う。介護も、町民の今後を考えると民間より町運営の施設建設を考えてはどうか。
根占山本	50 歳代	今は食の安全や自給率の問題もあり、農業がとても大切だと思います。そこで国も推進している有機農業に力を入れてはどうかと思います。町内の有機農産物を町が買い、小中学校の給食で使うなどすると、町内でお金が回り、またそのような意識を持った移住者増にもつながるのではないかと思います。豊かな自然が魅力の南大隅町でその魅力をより高める効果があると思います。あと、太陽光パネル設置について、景観が悪くなったり、廃棄時の環境負荷など耳にします。耕作放棄地が増えて、パネル設置が増えないか心配です。景観が悪くなると観光によくないと思いますので、町で何か考えて頂けないかと思っています。
根占山本	60 歳代	働く場の創出と確保が必要（若者が住める、町づくりの為）。
根占横別府	60 歳代	働く場所がない
佐多伊座敷	50 歳代	若者が働く場、魅力的な仕事場があればそれにとまって考えるべきことが増えてくると思います。まずは町から若者が出て行かなければ成り立たない環境をなんとかするべきかと思っています
佐多伊座敷	60 歳代	人口が減少していく中で高齢化が進んでいるが、近くにお店や病院がない。そのうち自分で運転が出来なくなると思うが隣近所も段々住民が減少しており、先々がとても不安。
佐多伊座敷	60 歳代	伊座敷より佐多岬方面への観光に行く人たちは多いですが、食事、お土産を買う所が無いので本当にもったいないと思います。少しでもお金を使ってくれる場所があれば良いのにといつも思っています。
佐多馬籠	50 歳代	田舎に住んでほしいなら、ローソンやファミリーマート等を作ってほしい。

1. 産業分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
佐多馬籠	60 歳代	「行ってみたい南大隅町」について。毎月とは言わないが、イベントの開催を PR して、祭日、休日は観光客が増加するような企画をする。
-	-	農業、食糧は国の基本だと思います。今後、食糧は世界で奪い合いの時代が来るのではないかと考えられます（農は国の基本となるべきだと思います）。もっと視点を変えて大切に大事に育てながら、支援を進めていく必要があるのではないかと思います。

2. 健康・医療・福祉・介護分野

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	40 歳代	公園に児童用の遊具（ブランコやアスレチック）がほしい。「みなと公園のトイレが汚い。」と子供が言っていた。子供達が安心して楽しく遊べる場所を作るとは、少子高齢化の南大隅町だからこそ必要だと思う。いつの時代も大人は子供達のヒーローである。子供達が今の南大隅町の大人をどう見ているのかを意識して、常に子供達を目線で町政に取り組んでほしい。子育て支援に力を入れれば若年層の住民が増え、その結果、財政が上向いた自治体もあると聞いた。
根占川北	40 歳代	地域のボランティア等で運営されてきた高齢者サロンは、ボランティアの方の高齢化により衰退して解散もみられます。自治会も限界集落が多くなり、健全に組織が保たれているのか心配です。高齢者が高齢者を支えるコミュニティは、良い部分は残して頼れる場所を再構築してほしい。
根占川北	50 歳代	高齢化でも健康で病気がない町民が元気な町づくり
根占川北	60 歳代	介護制度の充実を望みます
根占川北	60 歳代	高齢化が進む一方、高齢者施設でのサービスが受けられなくなったり、施設自体が存続出来なくなったりととても不安になります。子育て世代への支援同様、高齢者への支援も急務だと思います。介護士を増やす手立てもしっかり考えるべきだと思います。そして、人口減を少しでも防ぐための案も同時に考えるべきです。
根占川南	10 歳代	1 人暮らしの高齢者の支援が必要だと思う。
根占川南	40 歳代	障害者に対する支援、介護を必要とする人への支援をもっと充実させてほしいです。冊子の内容も、もっと詳しく載せてほしいです。
根占川南	40 歳代	子育てをする上で素晴らしい環境ではあるが、インフラ整備が進んでいない為に子育て世帯が他市町村に出してしまうのでは無いでしょうか？高齢化は避けられない現実なのであれば、高齢者の方々が健康で居ることが出来るようにお仕事をしながらでも通える、通いたくなるコミュニティの整備や、現在子育てをしている若い世帯が更に家族を増やそうと思えるようなサポートがあれば若い子育て世帯、一度他県などへ出られた方でもリターンし易くなると思います。若い方が増える事で活気、活力は戻るのではないかと思います。
根占山本	30 歳代	小児科が鹿屋まで行かないといけないため、せめて鹿屋までの交通費助成などがあるとありがたいです。
根占横別府	50 歳代	南大隅町は高齢者の人数が多いので町の未来が不安なこともあります。高齢者がいきいきと暮らせ、若い人も住みやすい町であってほしいと思います。
佐多伊座敷	30 歳代	南大隅町の介護サービスは良質なものである状況ではないと考えます。自分が 40 歳になった時に介護保険料を支払いたくないという気持ちが出るくらい、今現在最悪な状況だと思っています。もっと町全体が真剣に高齢者福祉と向き合っていく必要があると思う。本当に危機感を感じてほしい。
佐多伊座敷	60 歳代	充実した介護サービスを望みます。安心して入居できる高齢者福祉施設を希望する。
佐多伊座敷	60 歳代	人生 100 年時代です。安心して自宅で住めるような充実した福祉サービスを望みます。

2. 健康・医療・福祉・介護分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
佐多郡	70歳代以上	特養老人ホームの閉所は高齢者にとってとても不安なことです。毎日生きていくのも大変なのに、安心して死ぬ場所もないと嘆く声をよく耳にします。町の方で何とか尽力いただいて、真寿園が存続出来るよう希望します。

3. 教育・文化分野

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	30歳代	学校の給食費が無償化になるなど、子育てがしやすく大変助かっています。しかしながら、子供達からは給食が少ない、足りないという声をよく聞きます。我が子も食べる方なのですが、給食が足りないそうです。それならば、育ち盛りの年頃の子供達には親がお金を負担してでももっと食べさせてあげたいと思います。
根占川南	70歳代以上	グランドゴルフ場は常に旗が立っていることが理想。ストレッチ・筋トレ場がほしい（足腰を鍛えられる場所）。
根占横別府	30歳代	子供でも参加できるイベントを増やしてほしい。中学校の部活の種類を増やしてほしい（バスケ部の希望者が多い）。
根占横別府	30歳代	子育てに対して、いろいろ経済的な支援はありがたいが、学校現場の現実を受け止めて、支援員だけではなく、見守り員などへの配置などにお金が使われる方がよい。安心した学校生活を子どもたちが送れるようにすることで、先生方の負担も、子どもたちの負担もどりのぞけると思う。この町だからできることをしてほしい。

4. 生活基盤・環境分野

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	10歳代	海釣り公園を作してほしい（お父さんが危ないところに釣りに行くのが心配だから）。
根占川北	20歳代	それなりにサービス・支援は充実していると思いますが、若い人がすぐに住める場所が少ない。土地や空き家はたくさんあるのにもったいない。ぜひ頑張ってください。
根占川北	30歳代	不便さの改善。若い人は住みたいと思わない。病院も学校も遠いしバス代も高い。
根占川北	30歳代	私は外灯がない所に住んでいるので外灯を増やして、夜でもこわくない町にしてほしい。小さい子供と一緒にいるので、ぜひ夜でも明るいまちにしてください。
根占川北	40歳代	若者がいなければ町に活気はありません。若者の移住や就業にもっと力を入れるべきではないでしょうか。職場を増やすための企業誘致や、利用されていない農地の活用などで雇用を増やし、子育て・教育を充実させていかなければ町は衰退していきます。高齢者が多いからといって高齢者を優遇していても町の未来は見えません。
根占川北	40歳代	海釣り公園を作してほしい（安全に整備されたもの。主人が海釣りのために危ないところまでいってしまうため）。
根占川北	50歳代	住みやすく安全な町になれば良いと思います。
根占川北	50歳代	飼い猫や野良猫の去勢手術費用への助成は考えられないでしょうか。手術費用が高額でなかなか去勢しない家庭が多く、近所や農家等が迷惑を被っている。
根占川北	50歳代	人口は減り、高齢者は増える。一人暮らしの高齢者はさらに増え、見守りも難しくなってしまう。空き建物などに引っ越して来たら、見守りも、寂しさも、サービス提供も多くなるのでは。
根占川北	50歳代	歩道の整備
根占川北	70歳代以上	結婚につながる男女の出会いの機会づくりは、4町合同での機会を作るべきだと思う。
根占川南	30歳代	南大隅町がどれだけ魅力的な町になっても、交通の利便性が良くなると人口は減る一方だと思う。私の友人達も電車が無いという理由で転出している人が何人もいる。

4. 生活基盤・環境分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占川南	60歳代	今、町に野良猫が多いです。町としては野良猫に餌を与えないようにとのことですが、動物（猫）とどうにかうまく共存出来るように考えてはいただけませんか。
根占川南	60歳代	雄川流域の土手、草刈いについて。草刈い機を購入しているが、いつ使用をしているのだろうかという声を聞く。せつかくの景観も荒れていると悲しいです。紫陽花等を増やしたり、季節の花を植える等取り組んでください。
根占川南	60歳代	国道及び主要道路に関しては大まか整備作業が進んでいると思える（花壇等の美化環境を含む）が、どうしてもへき地となれば車の離合さえもままならない状況です。年間を通して雑草の生い茂る時期には建設業者等に整備を委託し、スムーズな交通回路になることを望みます。
根占川南	70歳代以上	耳鼻咽喉科と皮膚科の病院を作ってほしいです。
根占川南	70歳代以上	空き家を利用して、移住者が多くなるようにしてほしい。そうすれば町も賑わって、人が歩く町になると思う。人口が増加すれば若者が存在する南大隅町になると念じております。移住者促進の方法としては、田舎ならではの良さをアピール出来る観光施設（テーマパーク的な体験型施設。入場料金をとる。）を作って、外からの人を呼び込むべきです。また、移住者に空家を安価で譲って、そこに家を建築できるようなシステムを作ってはどうか（買ってからすぐに建築しなくても良いが、約束年数を設け、その範囲内での移住を計画してもらう）。とにかく、人のいない町にならないために、移住しやすい路線を作ることが必要だと思う。また、市場を作り、海の幸・山の幸等を半月に1回くらいで販売してほしい（魚やイセエビ、アワビ等の貝類）。行政はいつも頑張ってください。感謝の気持ちでいっぱいです。
根占川南	70歳代以上	車椅子で町内どこでも移動できるように、歩道を整備してほしい。
根占山本	40歳代	移住、二拠点生活、ワーケーション誘致、または都市部の副業人材活用など、更なる交流人口の拡大が必要である。勉強会を開催する時の講師の費用等を支援してほしい。
根占山本	60歳代	佐多までの国道沿いの草の多さに心が沈んでしまうことが多いです。自治会内の清掃活動は充実していますが国道沿いは清掃されていないため、町外からの観光客が目にしたら町の印象を悪く感じてしまうと思う。登尾地区の方々が紫陽花等を育てている活動がありますが、とても素晴らしい活動だと誇りに思います。雄川散歩道路の整備等を行い、「美しい町」を前面に出していく必要があると思います。除草作業は町を救ってくれると思います。
根占横別府	70歳代以上	災害、地震等に強い道路への整備や新設、拡張をしてほしい。特に道路拡幅困難な場所等には蓋付きの側溝設置を希望します。集落内等、木が生い茂り通行の妨げになっている所が多く見られますので、伐採等にも力を入れてほしいです。
根占横別府	70歳代以上	佐多岬や雄川の滝は歩いていくのには遠すぎます。手ごろな乗り物でもあったら苦勞せずに行けるのと思います。
佐多伊座敷	30歳代	家の横の道路と崖が崩れているので助けてください。家に入れなくなる程ではありませんが、日に日に崩れているため町道が土で汚れ、水路に土が流入しています。崩れているのも別の町道ですので、なんとか手だてをお願いします。
佐多伊座敷	40歳代	町道の管理をしっかりしてほしい。
佐多伊座敷	60歳代	若い人が南大隅町で働き暮らしたいと思っても、住む場所（マンション等）がない。市営住宅等は独身者でも入居できるようにしてほしい。
佐多伊座敷	60歳代	人口減少で高齢者が増えて、一人暮らしの人が増え行くと思うのでとても不安です。買い物や病院など自分で今は、運転できるでいいのですがとても不便だなと感じます。
佐多伊座敷	70歳代以上	空き家の整理、海岸の清掃が必要だと思う。

4. 生活基盤・環境分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
佐多伊座敷	70歳代以上	南大隅町の環境を破壊しないようにしてほしい。
佐多伊座敷	70歳代以上	町民の生活、交通基盤である国道269号線ですが、梅雨時期や台風通過後には必ずと言っていい程同じ場所で土砂や大量の水の流出や落石が見受けられる。自然災害なので予測はつかないかもしれないが、度々災害が発生する場所は事前に対策が出来ないものでしょうか。国道に限らず、林道、町道でも同じことが言えます。片側通行や未だに通行止めのロープが張ってある場所がありますが、普段の交通量は少なくともそこを通らなければ目的地に行けないことがあったりすると思います。行政側はそういう場所を確認したらそのまま放置するのではなく、速やかに作業に着手してほしいです。
佐多郡	40歳代	公衆トイレを増やしてほしい。観光に来て途中にトイレがないので、子供や高齢者連れにはキツイと以前いわれたことがあります。
佐多辺塚	70歳代以上	辺塚に移住者が来てくれますように！
佐多馬籠	20歳代	若い人達も住みたくなるような町づくりをしてほしいです。綺麗なアパート、マンションを建てて頂きたいです。
佐多馬籠	30歳代	交通機関の不便性を解消してほしいです。車を持っていない人、高齢者で免許返納した人は、バスを利用しないと病院・買い物に行けない方々がたくさんいらっしゃいます。しかし、週に1日しかバスの運行がなかったり、午前中にしか運行してなくて帰りの便がないためバスが利用できないという話も聞きます。佐多伊座敷や根占の方は不便がないと思いますが、尾波瀬集落等の端っこにいる住人のことも考えてください。伊座敷や根占の住人だけが南大隅町民ではありません。南大隅町全体の住民達が不便のない町づくりを考えてください。台風等の災害が起きた場合の避難所もしっかりと考えてください。雨漏りがする建物に誰が避難したいと思いますか？高齢者が多い南大隅町だからこそ、高齢者が住みやすい環境を考えるべきではないでしょうか。安心安全な災害時の避難場所の確保、交通機関の利便性向上を望みます。観光客を呼び寄せることより、住民が安心できる住環境を考えることが大事ではないでしょうか。子供の扶養に入っているからといって、子供と一緒に同居しているからといってその親の生活が安定しているとは限りません。年金だけで生活している人も多いはず。ただ一緒に暮らしているだけで生活費は別々の人達も多いはず。高齢者も若い人達も、皆が安心する町づくりをしていくべきだと思います。
佐多馬籠	50歳代	今後は高齢になり今以上買い物等が不便になると思う。健康には食事が大事だと思います。充実した移動販売等は出来ないのでしょうか。
佐多馬籠	50歳代	人口減少は絶対に避けられない。これ以上減少しないためには外から呼ぶしかないのではないか。思い切って移住者向けの住宅を建築して安い賃料で貸し出し、10年済んだら安い料金で買い取ってもらうのはどうか（現在は移住者が住める空き家が少なすぎるため）。または移住者へは50万円ほどの支援をするなどしてはどうか。
佐多馬籠	60歳代	少子高齢化問題が深刻だと思う。子供の声が聞こえない。根占は活気が少しあるが、佐多は今から10年後どうなっているのかと心配です。どうにかして町が1つになり、リーダー（議員さん）は移住者呼び込みに力をもっと入れてください。TVで熊本県がしていたように、野球のドラフトのような呼びかけも面白いと思います。大変ですが、みんなで頑張りましょう。空き家を増やしたくないです。
佐多馬籠	60歳代	色々な災害の度、町の広範囲で道路や山が崩れたり、水道・電気がストップしているのを見る。今後の不安を少しでも解消するため、危険な所に住んでいる住民を安全な場所に移住させ、安心して生活できるような工夫・対策を希望します。少ない職員の方々や消防に関わる方々が日頃努力されている姿勢には感謝しております。
佐多馬籠	70歳代以上	台風・災害時の停電の回復（復旧）状況を教えてほしい。津波時等に利用している海拔情報はいつ測定したデータなのでしょうか。古いデータなら、現在は以前より潮位が上がっていて意味がないので測定しなおした新しい情報がほしい。

4. 生活基盤・環境分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
佐多馬籠	70歳代以上	実家が空き家になったら盗難が数回あり、結局家を壊すことになりました。防犯は大事です（盗難がなかったら家を壊すことはなかったから）。インターネットは以前は利用していましたが、年金だけでは支払いが難しいのでやめました。

5. 行財政分野

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	20歳代	役場で自立支援の手続きをする際に、担当ではない方なのか複数人で手続きに必要なものを確認しており、的はずれなことを言われたのでありえないと思いました。今 SNS 等に必要なものが載っている時代で、他の自治体では〇〇町と調べれば手続きに関することはほとんど載っています。特に鹿児島市の HP は市民の方がよく聞かれる Q&A の項目もあり、サンサンコールにも電話をすればある程度の質問には答えてくださいます。南大隅町の HP も充実しているようには感じ無いのに、手続きを担当される方々が、手続きの内容を知らないのはとても町民として不安を感じます。また、以前国民健康保険税の納付書が来ましたが大幅に金額が間違っていました。役場に電話をしたところ、国保税の女性の方が間違っていないと一点張りでもう一回計算しますと言ってかけ直してきましたが、結局間違っていました。その後も訂正された納付書を送ってきただけだったのでとても不信感をいただきました。これから先の良いまちづくりを目指すのであれば、ひと目で知りたいことがわかったりする HP づくりや、役場で働いている方々も今までのような手続きの案内や間違いが起りやすい環境を変えないといけなと感じます。
根占川北	40歳代	オドルプロジェクトなど芸能事務所との協働はその効果は一時的なもの。限られた財源を目先のものに充てるのではなく、その活用は長期的かつ大きな視点で検討していただきたい。活性化については他の過疎地域の先進的な事例も参考になるのでは。南大隅町は観光資源が特に豊富であり、まだまだ活かさきれていない。これを十分に活かした町政を。観光に飲食はセットであり、現状では不十分。観光客は目も舌も肥えている。飲食店の育成に力を入れ、加えて町外からの誘致も含め競争環境を作り出すことが重要。南大隅はポテンシャルの高い素晴らしい町。ここにしか無い唯一無二の町づくりに期待。
根占川北	50歳代	他県との交流をもっと活発に実施してほしい。
根占川北	60歳代	自治会加入者が減少し、少子化、高齢化により自治会運営が難しくなってくる。自治会統合を進めることで、町の管理数を減らすことが必要と考えます。
根占川北	60歳代	問 23 にて有り得ないであろうと思う様なことを記載しましたが、先日新聞でこれに関する記事を見ました。都市に対する「ローカル」ではなく、土着を意味する「ネイティブ」が作る地域文化の風景を繋いでいくことを目指すという記事です。まさに南大隅町もそうではないかと思えます。役場の方々はそれぞれ目指す所に対してお仕事されており、大変だと思えますが頑張ってくださいたいです。若い職員にはこれから先、町の為に時間的にも精神的にもしんどくない仕事をしてほしいと願います。
根占川北	70歳代以上	今の町政ではいくら要望しても実現しない。もっと町民の意見を聞いてほしい。
根占川北	70歳代以上	もう少し議員の方の活動がほしい。
根占川北	-	インターネットでの情報を共有できる事により、現在は安芸高田市の財政に興味を持つ事で政治への関心を生まれて初めて気にかけるようになりました。南大隅町への政治をまだ理解はしていませんが、残念ながら…議会だよりを今回初めて目を通しました。二元代表制は全くされていないので、苦笑しました。全員、全ての事に反対意見もなく、賛成なんですね。石丸市長に見せてあげたいですね。これから先、高齢社会です。何年後かは又、合併せざるを得ない時がきますね。どうか南大隅町も早目に対策をとり、日置市に近い福祉の町を目指してほしいです。

5. 行財政分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占川南	30 歳代	SNS やホームページ、ふるさと納税をもっと活用して南大隅町の魅力を発信してほしいと思います。地元事業者の中には J-AIR(日本航空グループ)と提携している事業者もあるので、行政からも情報発信をしてアピールしてほしいです。また、SNS やホームページ上での観光案内についても観光ルート等町内だけではなく、近隣の市町を含めた案内図の作成等してはどうでしょうか？団体客だけではなく、個人旅行者にも焦点を当て、アクティビティもマリンスポーツ(ダイビング等)・キャンプができる場所もあり、温泉もある自然豊かな地域の特性を活かせる情報発信を期待しています。
根占川南	40 歳代	次の世代の為に行動してほしい。今だけ見たら消滅都市(町)となることを待つだけです。
根占川南	40 歳代	まちづくりを推進するにあたって、今回のアンケート調査だけに留まらず、町民が気軽に意見を伝えられる方法を取り入れたらもっと多くの声が集まるのではと思います。
根占川南	40 歳代	職員の志願者が少ないという記事を目にして心配しています。町民主体の町づくりとはいえ、行政の持つ力は大きいと思います。魅力ある町づくりのためにも、行政で働きたいと思われるような取り組みを推進してほしいです。
根占川南	50 歳代	休日担当医をホームページで見ても更新されていないで困る。何の為のホームページ？と思うことが度々ある。月初めにはすぐ分かるよう更新してほしい。町民の意見に耳を傾けない方々が多く何の相談も出来ず、トップのやりたいようにしかしてないのではと思う。考えの凝り固まったところがあり、何も変わらなかった3年だったなと感じている。3 役の方は、視野を広げて、観光客の立場や町内の交通事情を自分の足で自分のお金で体験してみてください。どれだけ不便か分かります。若者たちのリターンが何故ないかについて、真剣に考えないといけない時期ではないでしょうか(大事に思う田舎なら、大事に思う南大隅町なら)。南大隅町はとても良い場所ではあるが、行政の力不足でダメになっていると市内の方が言っていて悔しかったです。税金の無駄使いをしないでください。意見をしっかりと町長へも伝えて、少しでも良くなるよう改善してください。
根占川南	50 歳代	財政収入を、税金に頼らないまちづくり
根占川南	60 歳代	LINE にゴミ判別アプリ(ゴミの分別方法について)がありますが、インクジェットプリンターの「インク」で検索してもデータの登録がなかったので、質問したら1週間後に「燃えるゴミ」と連絡がありました。多くの町民が家庭でインクジェットプリンターを使用しているのに、「インク」の分別が記載されていないのはおかしい。「燃えるゴミ」と連絡があったから1年経過後もまだ「インク」の分別が登録されていなかったため連絡をしたら、「申し訳ございません。」で終わった。他の「インク」の分別が分からない人も同じことを繰り返すのではないかと。上記はほんの一部の事例であり、マイナンバー登録の時のセキュリティ対策のいい加減さにも驚きました(登録中の人の番号が、後ろにいる人に見えていた)。行政は施策や事務処理のスピードが他の自治体より遅い。町役場全体の能力向上に努めてほしい。
根占川南	70 歳代以上	以前、町民に何も知らされないまま映画作りが行われました。その後、町内で上映会があったようですが、他の市町村に広がったようには思えません。いくらのお金を使い、いくらのお金があったのか等、その後の報告を見た記憶がありません。町の多額のお金を使った映画作りは、何の意味があったのでしょうか。また、映画作りが何も知らされないまま行政が進めていったことから、映画のように他のことでも勝手に行われることがあるのではないかと不安があります。全てのことを町民に諮り、風通しを良くして公明正大に何事も行っていくことを希望します。
根占川南	70 歳代以上	高齢化率県下No.1、消滅自治体になるであろう町。町民に希望、夢を提案出来ない、現執行部、議会は、退場すべきである。
根占山本	20 歳代	役場の対応の迅速化をお願いします！町営住宅に住んでいるんですが修理の電話をしているのに何の連絡も来ていないので！

5. 行財政分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占山本	40 歳代	町取組や支援について、知ること・知ってもらうことがまずは大事かなと思います。私自身、アンケートにある事柄を人に聞かれても答えられないと正直思いました。後から知るより先に知ること、相談したり支援を受けたりがスムーズになると思います。そこで、希望者にでも町取組や支援全般が記載された冊子を配布してもらえたらいいのではと思います。インターネットでの検索も早く知れると思いますが、高齢者や検索が苦手な人もいますので冊子の方が助かると思います。本人だけでなく、周りの人が困った時にも冊子で支援を分かっていたら声掛けしやすくなると思います。もし内容等が変更になった時は町報等に載せていただいて、それぞれ確認やメモを取る等をすればいいかなと思いました（または変更事項を記載した別紙を配布して、冊子に挟んでもらう）。より住みやすい、生きやすい町になればいいかなと思います。
根占山本	60 歳代	広報はとても良いです。
根占山本	70 歳代以上	先例、前例主義の打破。70 歳を超える者の町議、町長への出馬禁止。若者、次世代の頭を抑えないこと。マンネリズムの打破。変化を恐れない。放送の曲をアニソン等を使う。他の半島にない斬新奇抜、奇想天外な発想。薩摩ではなく大隅国であることのアイデンティティ。鹿屋からのプロポーズをなぜ受けなかったか？議員の保身か？役場、学校へのクレーム、提言等を広報に出して、町民皆で考える、議論する。デジタル機器の取扱講習等を行う。
根占山本	60 歳代	南大隅町根占図書館を建て替える時は、喫茶店を併設してほしい。理由は、図書館に子供を連れてきた保護者の憩いのためと、落語会やミニコンサートを開催してほしいからです。そのような催し物の開催が可能のように音響設備を充実させてほしいです。
根占山本	70 歳代以上	デジタル技術の活用は、絶対無理です。
根占山本	70 歳代以上	我が南大隅町には「核関連施設立地拒否条例」がある。この条例を盾に、町民の安心安全な生活と自然を壊すことのない生活を守る橋頭堡として、町民を二分するような安易なお金の獲得に奔走する政務・政策をすることなく、農業・林業・漁業・観光・商工業の各分野及び町議会議員で、どうしたらやせ細っていくこれからの南大隅町を発展させられるかについて議論を深めてほしい。そうすれば三人寄れば文殊の知恵の如く、今後の為の良い具体的な政策・施策への知恵が出るのではないかなと思う。
根占山本	70 歳代以上	一部への助成だけでなく、少額でも町民全員へ配布してほしい。町民の経済も大切ですが、心を大事にした施策をお願いします。
根占横別府	-	高齢化、人口減少は全国的な問題で避けて通れない。無理せず、出来ることだけをやるのが良いと思う。
根占横別府	20 歳代	人口減少の中で自治会システムを維持・変化させていくため、デジタル推進員の育成・定着システムを強化し、体系化して欲しいと思います。
根占横別府	30 歳代	廃校になった小・中学校を有効活用したらどうでしょうか。そこにあるだけではもったいないです。高齢者の集まれる場所（レクレーションや食事出来る）、子供達の遊べる場所（学童みたいな場所）、中間世代が利用出来る場所（ジム等）に活用してはどうでしょうか。または Wi-Fi スポットにするなど、色々出来ることがあると思います。車の無い人もいますので、送迎バスを運行し、週 1 回でも買い物出来るといいです（町外のお店が出店）。あとはマルシェやフリーマーケットを開催しても面白いかなと思います。少子化対策については、今の南大隅町の人口数等を考えると現状で十分だと思います。子供も大切ですが、子供の数を増やすことより高齢者のことをどうにかしないとイケないと思います。高齢者の車の事故や孤独死等が社会的に問題になっていますが、南大隅町は車がないと何も出来ません。バスやタクシーもほとんどきません。この問題をどうにかするべきです。
根占横別府	30 歳代	住民税非課税世帯以外にも支援を加えてほしい。国は非課税世帯への支援をしているが、それ以外でも苦しい世帯は多くあると思う。一部ばかりを優遇するのではなく、町がカバーした支援を楽しみにしている

5. 行財政分野（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占 横別府	60 歳代	町報の 4 コマ漫画は不要である。その漫画にかかっている分の税金を他に利用していただきたい。どこの自治会にも高齢者様が多いため、若い方々も清掃等に協力してもらいたい。旧町おこし協力隊員は、何のためにいるのか理解出来ない。彼らは簡単に家族の写真をインスタグラムに載せたりするので困る。個人情報大切にしてほしい。他人に貰い物してもお礼もない（品物ではなくて言葉です）。小さな子供でもありがたいと言えます。
根占 横別府	70 歳代 以上	皆で語り合い、話し合うことが大切です。話さないとお互いに誤解を生じる。私は普段のおしゃべり等で幸福を感じています。女性グループへの支援と協力をお願いしたい。〇〇会等はほとんど男性が主で女性あまり参加していない。転入者や若い世代への心ある協力も必要です。行政はまだもっと学んで、皆に知らしめてほしい。当たらず触らずでは何も向上しないと考えます。
佐多 伊座敷	40 歳代	南大隅町は鹿児島県の中でも高齢化が顕著であり、今すぐにでも行動しなければこの流れを止めることは出来ないことは明白です。本土最南端という素晴らしい立地を活かせないのは何故なのでしょう、厳しい言葉かもしれませんがこれまでの行政の怠慢がこの結果を生み出しているのではないのでしょうか。行政の無駄を徹底的に省き起業志向のある人材を前に据えてこれまでにない大きな変革を行う時期に来ていると考えます。日本全国の過疎化が進む地域全般に言えることですが地域のブランディングをしっかりと考えるべきです。
佐多 伊座敷	60 歳代	高齢者の人達にとっては住みやすい町なのではないでしょうか（町外の病院に行くのは大変そうですが）。子育て世代の情報は入ってこないのだから分らないですが、少子化が進行しているのにその対策等について南大隅町が何も発信しないので、全く取り組みについて分らない。町内を見る限りでは、何かをしているようには見えない。子育て世代の移住が大事だと思うが、働くところも子育てしやすい環境もないとなるとどうしようもない。今住んでいる住民にとって住みやすい町づくりは大事ですが、それと同じくらい若い世代に移住してもらえるような町づくりが大事だと思います。子供達が帰省しても、孫が遊ぶ場所がありません。ということは、子育て世代には移住してもらえないということです。役場で働いている人達は毎日仕事に追われて大変だと思います。でも、もっと役場の職員が笑顔でいたら違うと思います。住みやすい町になるように頑張ってください。
佐多 伊座敷	60 歳代	本計画が絵にかいた餅にならないよう計画的長期ビジョンの実践目標となるよう期待する。
佐多 伊座敷	70 歳代 以上	人口減少の歯止めが出来なければ町の存続はどうなりますか？町づくりを考えることも重要ですが、限界集落とテレビで取り上げられている事をもっと真剣に考えることが先決ではありませんか？
佐多 伊座敷	70 歳代 以上	自治会をまとめることが必要
佐多 伊座敷	70 歳代 以上	若者が参加する行事の方が多くて、高齢者が参加できる行事が少ない。
佐多郡	40 歳代	役場の方にはいつもお世話になります。これからも限界集落を抱えながらの町づくりは課題も多いかと思いますが、役場の方々が諦めてしまえばそこで町はなくなってしまいます。今後とも主導して頂きながら官民一体となった町づくりをお願いします。

6. まちづくり全般・その他

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	10 歳代	凄く良い町で愛着ある大好きな南大隅町をどんどん大きく活性化させてほしい
根占川北	20 歳代	頑張ってください。

6. まちづくり全般・その他（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占川北	20 歳代	路線バスの減便もあり、交通機関の整備は高齢化の進む町では重要視されてくると思います。若者を増やすためには、まずは働く場所の確保が一番ではないかと思います。働く場所もない、ましては住む場所もなければ人口が増えることは困難ではないでしょうか。様々な就業支援（農業等）があるのは大変ありがたいです。第一次産業だけでなく、第二次、第三次産業の充実がなければ改善していくのは難しいと思っています。お店（商業施設）が町に出来たら嬉しいです。
根占川北	30 歳代	小学生の子供に南大隅町をどう思うか聞いたら「からっぽ」だと言っていました。このアンケートは町づくりに活かされますか？
根占川北	30 歳代	20 年、30 年後の南大隅町がどうなっているか心配です。
根占川北	30 歳代	イベントをするのはいいが、マナーを守ってほしい。駐車禁止のそこには停めないとか。あとは、町営団地の悪い箇所を役場にいつてるんですが、修繕に中々きてもらえない。団地内に車を必要最低限入れないようにいつてるのに改善されない。
根占川北	30 歳代	不平等をなくしてほしい。どの職業の人も大切な町民！
根占川北	40 歳代	何かをやるなら、人口のある今のうちに手を打ってください。どうせやるなら、記念に残る形をお願いします。
根占川北	40 歳代	返信用封筒は、封が出来るテープ付の方がアンケートを回答する側には良いです。手間がかかります。
根占川北	40 歳代	このアンケートが役に立つことを祈ります。
根占川北	40 歳代	町の魅力を外に発信する機会を増やすといいかもと思います。
根占川北	40 歳代	アンケートの項目が難しかったです。
根占川北	40 歳代	熱意ある人、人材がいなくてその先に続かないと感じます（質の向上に）。
根占川北	40 歳代	コンプライアンスや、財産難、人口激減が、そこにあります。5 年、10 年、激変する南大隅地域！がんばってください。
根占川北	50 歳代	南大隅町は自然豊かで景観にも優れていると思います。特に錦江湾に沈む夕日等はきれいに見えて、日本一美しい夕日だと自慢に思っています。隣の錦江町等は神川海岸の「かげえ海岸」で人気だったり、天神町のゆくさおおすみ等、海岸の美しさを前面に出して SNS 等で話題になり観光客も来ています。真似することが良いわけではありませんが、こういった取り組みを参考してインフルエンサーにも協力をもらい、SNS 等で町内のいいところをどんどん世間にアピールしていくべきだと思います。美味しいものもたくさんあるのにまだまだ全国的に知られていないので、どんどん発信してほしいです。また、町内には空き家が多いので、町で買い取ってリフォームし、移住者を増やす取り組みもいいのではと思います。船でしか行けない甌島ですが今は人気で、移住者が増えているとテレビで観ました。南大隅町は車があれば鹿屋にすぐ買い物にも行けるし、自然もあるし、子育て世代への支援もたくさんあるしとメリットだらけなのにもったいないと思います。もっと大きくアピールしてほしいです。
根占川北	50 歳代	生活費高騰対策
根占川北	50 歳代	人口減少、労働者の減少、介護施設の減少などの負の連鎖を止められるように対策を考えてほしい。
根占川北	50 歳代	安心して生活できるようにお願いします
根占川北	60 歳代	今後は耕作されない土地が増加すると思いますが、そのような土地にはレンゲ、ヒマワリ、コスモス等を植えて、年間を通じて花のある町にしてはどうでしょうか。面積が大きければ大きいほどテレビ等で取り上げられるので、たくさんの方が南大隅町に来ることになると思います。人がたくさん来れば町内の収入も増えると思います。元手をあまりかけずに行うことが重要だと思います。
根占川南	10 歳代	がんばりましょう！
根占川南	40 歳代	いつも町民の為にありがとうございます。

6. まちづくり全般・その他（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
根占川南	50 歳代	人口の増加、森林の保護、経済の発展、医療の充実が必要です。
根占川南	50 歳代	どの年代・世代にもメリットのある取り組みをしてほしい（子育て世代や後期高齢者だけに偏らない対応）。
根占川南	70 歳代 以上	私は南大隅町に来てたかだか 10 数年です。町のことは良く解っていない部分が多々あります。高齢になり残りの人生も先が見えていますが、少しでも多くの町民の方と知り合えたらと思っています。
根占川南	70 歳代 以上	毎年、5 月の連休になると思うのですが、根占大橋辺りに鯉のぼりのように T シャツのぼりを飾ってみてはどうでしょうか。学生に自分の願い事や夢などを書いた T シャツを持ち寄ってもらい飾れば、子供達も喜んで見に来ると思うし、他の人にも喜ばれると思えますがいかがでしょうか。お金の面も持ち寄りならそんなにかからないと思います。是非検討お願いします。西原台に鯉のぼりが上がると聞きましたが、遠すぎるのであまり効果がないと思います。
根占辺田	50 歳代	垂水は高峠のつつじ、生駒高原はコスモス、鹿屋はバラ園のバラ。何か植物の名所がほしいですが、無理ですね。遅くなってすみません。
根占山本	40 歳代	必要な時は町民への協力要請をしてください。
根占山本	60 歳代	全国どこの自治体も人口減少が最重要課題だと思う。とにかく、子育て世代の人口を増加させないといけないと思います。人口獲得競争に負けないことが大事です。人口の取り合いです。農村漁業者（一次産業）への手厚い対策がないと他の自治体に負ける。頑張れ、南大隅町！！
根占横別府	10 歳代	若者が暮らしやすく遊びの場店などの整備を行い、高齢者が不便なく暮らせるような町づくり
根占横別府	10 歳代	南大隅町が大好きです。
根占横別府	20 歳代	このアンケート内容に意味があるのか分からない。
根占横別府	40 歳代	自分の子供世代（高校生）がこの町へずっと住み続けたいと思える町づくりをしていかないと、今後南大隅町の人口減少は増々進んでいくと思います。子供は、田舎は好きだけど魅力的と思えるものがないと言っています。町に誇れるものがないようです。こちらでもあがっている雄川の滝等の他へももっと力を入れていかないと、人も呼べないのではないのでしょうか。観光を売りにしたいのであれば、道路に草木があらこちらで生い茂っているのはいかがなものかと思えます。
根占横別府	40 歳代	南大隅町に住み始めて 10 年ほどになりますが、のんびりとして住みやすい町だなとは思っています。気になるのは、観光や特産品のアピールが足りないところです。HP、SNS の活用など、特に HP はもう少し情報量を増やしてほしいです。また、空き家が増えているのも気になります。住みよいところなので、移住希望者に向けてのアピール等（特典、メリット）に力を入れ、空き家が少なくなってほしいと思います。もし、もう既に行っているのであれば、もっと多くの人に知ってもらえるようにアピールする方法を検討してほしいです。よろしくをお願いします。
根占横別府	40 歳代	人とのつながりや福祉などに関しては十分充実している。仕事以外の活動では緊張や人間関係に気を使いたくないので、地域団体にしても、今の活動内容では若者は参加しにくいので、おしゃれ趣向を取り入れ参加しやすく楽しめるものにしてほしい。そして、第一次産業の活性化による所得、就業人数の増加やスマート農業の振興が必須。第一次産業が活性化していないのに観光や食の発展、環境、街や景観美化も進まないと考えるので、「第一次産業（農業、林業、水産業）に就業すれば、ゆとりある生活（所得、家、休日の保証）ができるということ」を保証できるほどの町づくりを目指してほしい。

6. まちづくり全般・その他（つづき）

居住地区	年齢	自由意見
佐多伊座敷	10 歳代	少子高齢化や過疎化が進行しているからといって子育て支援に手を入れるのではなく、今町内にいる人たちのサポートに力を入れていくと良いと思います。町外に出ていく人達が増えると、元も子もないと思います。今いる人達のための対策を増やしたり、町の魅力や特徴を活かした自然観光業への取組をしたりするのが良いと考えます。南大隅町が大好きなので、これからもいきいきと活気のある町として成長していくことが望ましいと思います。頑張ってください。
佐多伊座敷	60 歳代	一部の意見に惑わされないでほしい。強い意見の人は正論なのか？何でも意見が通るのでしょうか。
佐多伊座敷	60 歳代	若い世代の受け入れ、移住者の推進、佐多地区の活性化、子育てに魅力のある町づくり
佐多郡	60 歳代	高齢化に歯止めがかからない状況下、南大隅町民で良かったと思えるまちづくりを行政、町民でやっていけたら良いと思います。
佐多辺塚	50 歳代	たった1人にも寄り添えるまちづくりをしてほしい
佐多辺塚	70 歳代以上	生まれた所で死にたい。これが人生最後を迎える時の本音だと歳を重ねて理解できます。以前そう望んだ方を希望する施設へお連れする事が出来ず、その方は他県で亡くなりました。南大隅町に住んでいた人は町内では死ねないのかと思いました。故郷にUターンして故郷で死にたい人もいます。それが出来ないのが今の日本の現状です。地域は地域の人の心が創ります。思いやりの心があり、人や故郷を大事にしたいという様な地域であれば、そこに住みたい心が生まれるのではないのでしょうか。住んでいる人が地域に愛を持ち、懐かしく訪ね来る人を温かい心で受け入れれば、どこで暮らそうとも故郷はその人の心で生きているし、Uターンのきっかけにもなると思います。南大隅町出身の方、老後を故郷で過ごしませんかと発信してはどうですか？若い人も家族連れも確かに大事ですが、Uターン者が増えれば、段々老若男女集っていくのではないかと思います。
佐多馬籠	60 歳代	南大隅町の10年後を考えた時、果たして何ヶ所の集落が消えているのだからと考えるだけで悲しくなる。亡くなる方ばかりで、南大隅町に入ってくる方がいないのが現状です。何か企業でも誘致出来たら、若者も住みたくなる町になるのではと思います。道路も、鹿屋から佐多まで自然災害に負けない道路建設等を早期に着工できるようにしてほしい。農業、林業、漁業だけでは人口の増加は望めないと。何か知恵を出していただき、若者が住みたいと思える町づくりを行政に望みます。
-	50 歳代	病院も買い物も歩いて行けるところで済ませて、出来るだけ人に迷惑をかけないように伸び伸び生きたい（夢の中の様な話ですが）。しかし現実はどうでしょうか。これからまだ長く生きるので大変だと思いますが、私は負けません。活気で頑張ります。あんな坂、こんな坂、瀬戸山坂、命ある限り頑張って登ります。子供が少なく高齢者が多いですが、人生仲良く生きられるように楽しめる場所を作ってほしい。店やスーパーの近くで時間を決めて午前午後2回位、軽い運動をしたりするのはどうでしょうか。そうしたら人が集まるのではないかと思います。